



### 第3章 申請書記入例

建築物省エネ法における性能向上計画認定及び認定表示では、いずれの認定においても対象となる建物の用途や新築時期の違いにより、適用される基準が異なってくる。

ここでは、それぞれの認定申請について一般的な事例における記入例を作成している。記入例は、ページの見開きを利用して、左ページに様式、右ページにその記入例を示しているので、申請書作成に当たっては参考として頂きたい。

また、平成28年4月の建築物省エネ法に基づく基準省令・告示の施行に併せて、現行省エネ法および低炭素法においても告示改正が行われる。

ただし、現行省エネ法および低炭素法では、平成28年度中については、従前の例（平成25年基準）によることができるとしていることから、H25基準、改正後の基準（H28基準）のいずれの計算方法も利用可能となる。

そのため、現行省エネ法の届出書および低炭素建築物等計画認定申請書についても記入例を掲載したので参考として頂きたい。

#### 1.性能向上計画認定

(1) 記入例 1 (木造戸建て住宅用)

1) 建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書 (第一号様式)

様式第一 (第一条関係) (日本工業規格 A 列 4 番)

(第一面)

建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 29 条第 1 項の規定により、建築物エネルギー消費性能向上計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体
- 建築物の一部 (住戸の部分)
- 建築物の一部 (非住宅部分)

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

様式第一（第一条関係）（日本工業規格A列4番）

（第一面）

建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名 〇〇県〇〇市〇〇町  
〇-〇-〇  
建築 太郎 印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第29条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能向上計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体  
建築物の一部（住戸の部分）  
建築物の一部（非住宅部分）

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決裁欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(第二面)

建築物エネルギー消費性能向上計画

1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

[建築物に関する事項]

【1. 地名地番】	
【2. 敷地面積】	m <sup>2</sup>
【3. 建築面積】	m <sup>2</sup>
【4. 延べ面積】	m <sup>2</sup>
【5. 建築物の階数】	(地上) 階 (地下) 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体 戸 認定申請対象住戸 戸
【8. 工事種別】	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修
【9. 構造】	造 一部 造
【10. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 竣工年月日 年 月 日 竣工
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による
【12. 該当する地域の区分】	地域



【13. 建築物のエネルギー消費性能】

1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

基準省令第8条第1号イ(1)の基準 年間熱負荷係数 MJ/( $\text{m}^2 \cdot \text{年}$ ) (基準値 BPI ( ) MJ/( $\text{m}^2 \cdot \text{年}$ ))

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

基準対象外

(2) 一戸建ての住宅

外皮平均熱貫流率 W/( $\text{m}^2 \cdot \text{K}$ ) (基準値 冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 W/( $\text{m}^2 \cdot \text{K}$ ))

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

基準対象外

2. 一次エネルギー消費量に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

基準省令第8条第1号ロ(1)の基準 誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年 基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 GJ/年

BEI ( )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分

誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年 基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 GJ/年

BEI ( )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(3) 複合建築物

誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 GJ/年

BEI ( )

【14. 確認の特例】

法第30条第2項の規定による申出の有無  有  無

【15. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】

【16. 備考】

## 【13. 建築物のエネルギー消費性能】

## 1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項

## (1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

基準省令第8条第1号イ(1)の基準  基準省令第8条第1号イ(2)の基準  
 年間熱負荷係数 MJ/(m<sup>2</sup>・年) (基準値 MJ/(m<sup>2</sup>・年))  
 B P I ( )

国土交通大臣が認める方法及びその結果  
 ( )

基準対象外

## (2) 一戸建ての住宅

外皮平均熱貫流率 0.76 W/(m<sup>2</sup>・K) (基準値 0.87 W/(m<sup>2</sup>・K))  
 冷房期の平均日射熱取得率 2.4 (基準値 2.8 )

国土交通大臣が認める方法及びその結果  
 ( )

基準対象外

## 2. 一次エネルギー消費量に関する事項

## (1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

基準省令第8条第1号ロ(1)の基準  基準省令第8条第1号ロ(2)の基準  
 誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
 基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 GJ/年

B E I ( )

国土交通大臣が認める方法及びその結果  
 ( )

## (2) 住宅又は複合建築物の住宅部分

誘導基準一次エネルギー消費量 104.6 GJ/年  
 基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 102.3 GJ/年

B E I ( 0.88 )

国土交通大臣が認める方法及びその結果  
 ( )

## (3) 複合建築物

誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 GJ/年

B E I ( )

## 【14. 確認の特例】

法第30条第2項の規定による申出の有無  有  無

## 【15. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】

## 【16. 備考】

(第四面)

2. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に係る資金計画

--

3. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日]	年	月	日
[工事の完了の予定年月日]	年	月	日

(第四面)

2. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に係る資金計画

建築に要する費用 3000万円

3. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日]	●年 ●月 ●日
[工事の完了の予定年月日]	▲年 ▲月 ▲日

(記載注意事項、以下記載例において省略。)

(注意)

### 1. 各面共通関係

- ① この様式において使用する用語は、特別の定めのある場合を除くほか、建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(平成〇〇〇年経済産業省令・国土交通省令第〇〇〇号。以下「基準省令」という。)において使用する用語の例によります。
- ② この様式において、次に掲げる用語の意義は、それぞれ次のとおりとします。
  - (1) 一戸建ての住宅 一棟の建築物からなる一戸の住宅
  - (2) 共同住宅等 共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅

### 2. 第一面関係

- ① 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
- ② 申請者の氏名(法人にあっては、その代表者の氏名)の記載を自署で行う場合には、押印を省略することができます。
- ③ 【申請の対象とする範囲】の欄は、非住宅建築物、一戸建ての住宅又は共同住宅等若しくは複合建築物の全体に係る申請の場合には「建築物全体」のチェックボックスに、共同住宅等又は複合建築物の住戸の部分に係る申請の場合には「建築物の一部(住戸の部分)」のチェックボックスに、複合建築物の非住宅部分に係る申請の場合には「建築物の一部(非住宅部分)」のチェックボックスに、「✓」マークを入れてください(複数選択可)。

### 3. 第二面関係

- ① 【6. 建築物の用途】及び【8. 工事種別】の欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
- ② 【7. 建築物の住戸の数】の欄は、【6. 建築物の用途】で「共同住宅等」又は「複合建築物」を選んだ場合のみ記載してください。
- ③ 【10. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】の欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れ、「有」の場合は申請に係る建築物の新築工事の竣工年月日を記載して下さい。
- ④ 【13. 建築物のエネルギー消費性能】の欄は、第一面の【申請の対象とする範囲】の欄で「建築物全体」又は「建築物の一部(非住宅部分)」を選んだ場合のみ記載してください。

「1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項」については、以下の内容に従って記載して下さい。

  - (1) 申請に係る建築物が非住宅建築物の場合は「(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分」に、一戸建ての住宅の場合は「(2) 一戸建ての住宅」に記載して下さい。申請に係る建築物が複合建築物の場合は、非住宅部分について「(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分」に記載して下さい。
  - (2) 「(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分」については、「基準省令第8条第1号イ(1)の基準」、「基準省令第8条第1号イ(2)の基準」、「国土交通大臣が認める方法及びその結果」又は「基準対象外」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れた上で記載して下さい。「年間熱負荷係数」については、基準値(基準省令別表に掲げる数値をいう。以下④において同じ。)と併せて記載して下さい。B P Iについては、小数点第二位未満を切り上げた数値を記載して下さい。

- (3) 「(2) 一戸建ての住宅」については、「外皮平均熱貫流率」及び「冷房期の平均日射熱取得率」、「国土交通大臣が認める方法及びその結果」又は「基準対象外」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れた上で記載してください。「外皮平均熱貫流率」及び「冷房期の平均日射熱取得率」については、それぞれ基準値（基準省令第1条第1項第2号イ(1)の表に掲げる数値をいう。）と併せて記載してください。
- (4) この欄における次に掲げる用語の意義は、それぞれ次に定めるところによります。
- i) 年間熱負荷係数 屋内周囲空間の年間熱負荷を屋内周囲空間の床面積の合計で除して得た数値をいいます。
  - ii) B P I 年間熱負荷係数を基準値で除したものをいいます。
  - iii) 基準対象外 基準省令附則第3条第2項又は第4条第3項の規定の適用を受ける場合をいいます。
- 「2. 一次エネルギー消費量に関する事項」については、以下の内容に従って記載して下さい。
- (1) 申請に係る建築物が非住宅建築物の場合は「(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分」に、住宅の場合は「(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分」に記載して下さい（「基準一次エネルギー消費量」の部分を除く。）。申請に係る建築物が複合建築物であって、基準省令第8条第3号イの基準による場合は、非住宅部分及び住宅部分について、それぞれ「(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分」及び「(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分」に記載して下さい（「基準一次エネルギー消費量」の部分を除く。）。申請に係る建築物が複合建築物であって、基準省令第8条第3号ロの基準による場合は、非住宅部分及び住宅部分について、それぞれ「(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分」及び「(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分」に記載の上（「誘導基準一次エネルギー消費量」の部分を除く。）、複合建築物全体について「(3) 複合建築物」に記載して下さい。
- (2) 「(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分」については、「基準省令第8条第1号ロ(1)の基準」、「基準省令第8条第1号ロ(2)の基準」又は「国土交通大臣が認める方法及びその結果」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れた上で記載して下さい。B E Iについては、小数点第二位未満を切り上げた値を記載して下さい。
- (3) 「(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分」については、「誘導基準一次エネルギー消費量」、「設計一次エネルギー消費量」及び「B E I」又は「国土交通大臣が認める方法及びその結果」の該当するチェックボックスに「✓」マークを入れた上で記載して下さい。「誘導基準一次エネルギー消費量」、「設計一次エネルギー消費量」及び「B E I」については、住宅全体又は複合建築物の住宅部分全体での数値を記載して下さい。「B E I」については、小数点第二位未満を切り上げた数値を記載して下さい。
- (4) この欄における次に掲げる用語の意義は、それぞれ次に定めるところによります。
- i) B E I 設計一次エネルギー消費量（その他一次エネルギー消費量を除く。）を基準一次エネルギー消費量（その他一次エネルギー消費量を除く。）で除したものをいいます。

- ⑤ 【14. 確認の特例】の欄は、認定の申請に併せて建築基準法（昭和25年法律第201号）第6条第1項の規定による確認の申請書を提出して同項に規定する建築基準関係規定に適合するかどうかの審査を受けるよう申し出る場合には「有」のチェックボックスに、申し出ない場合には「無」のチェックボックスに、「✓」マークを入れてください。
- ⑥ 【15. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】の欄には、法第35条の規定により容積率の算定の基礎となる延べ面積に算入しない部分の床面積（建築基準法第52条第3項及び第6項並びに建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第2条第1項第4号及び第3項の規定に基づき延べ面積に算入しない部分の床面積を除き、建築物の延べ面積の10分の1を超えるときは当該建築物の延べ面積の10分の1とする。）を記入してください。また、当該床面積の算定根拠を示す資料を別に添付してください。
- ⑦ 第二面は、建築確認等他の制度の申請書の写しに必要事項を補って追加して記載した書面その他の記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

#### 4. 第三面関係

- ① 第三面は、第一面の【申請の対象とする範囲】の欄で「建築物全体」を選んだ場合であって共同住宅等若しくは複合建築物に係る申請を行う場合又は第一面の【申請の対象とする範囲】の欄で「建築物の一部（住戸の部分）」を選んだ場合に、申請に係る住戸ごとに作成してください。
- ② 住戸の階数が二以上である場合には、【3. 専用部分の床面積】に各階ごとの床面積を併せて記載してください。
- ③ 【4. 住戸のエネルギー消費性能】の欄に用いる用語の意義は、3. 第二面関係の注意④のとおりとします。

「1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項」については、「外皮平均熱貫流率」及び「冷房期の平均日射熱取得率」、「国土交通大臣が認める方法及びその結果」又は「基準対象外」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れた上で記載してください。「外皮平均熱貫流率」及び「冷房期の平均日射熱取得率」については、それぞれの基準値（基準省令第1条第1項第2号イ（1）の表に掲げる数値をいう。）と併せて記載してください。

「2. 一次エネルギー消費量に関する事項」は「誘導基準一次エネルギー消費量」、「設計一次エネルギー消費量」及び「BEI」又は「国土交通大臣が認める方法及びその結果」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れた上で記載してください。「BEI」については、小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。

- ④ 【5. 住戸に係る認定の申請の有無】の欄は、第一面の【申請の対象とする範囲】の欄で「建築物の一部（住戸の部分）」を選んだ場合であって当該住戸について認定の申請を行う場合には「有」のチェックボックスに、行わない場合には「無」のチェックボックスに、「✓」マークを入れてください。
- ⑤ 第三面は、他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

#### 5. 第四面関係

第四面は、記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。



2) 設計内容説明書（木造戸建住宅用参考様式）

設計内容説明書					
【一戸建ての住宅】					※印は設計者等が記入のこと
※対象建築物の名称					
※対象建築物の所在地					
※設計者等の氏名					
審査者氏名					
認定事項	確認項目	※設計内容説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容	記載図書欄	
	外皮性能等に係る基本事項	地域区分	<input type="checkbox"/> 1地域 <input type="checkbox"/> 2地域 <input type="checkbox"/> 3地域 <input type="checkbox"/> 4地域 <input type="checkbox"/> 5地域 <input type="checkbox"/> 6地域 <input type="checkbox"/> 7地域 <input type="checkbox"/> 8地域	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適
		住宅の構造	<input type="checkbox"/> 木造住宅（ <input type="checkbox"/> 軸組構法 <input type="checkbox"/> 軸組工法） <input type="checkbox"/> 鉄骨造住宅 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造（組石造含む。）住宅 <input type="checkbox"/> その他		
	住宅計算方法に係る事項	外皮平均熱貫流率	外皮平均熱貫流率（UA） （                      ）【W/m <sup>2</sup> K】		
		外皮平均日射熱取得率	冷房期の平均日射熱取得率の計算値 （                      ）		
住宅仕様基準に係る事項	躯体の断熱性能等	<input type="checkbox"/> 熱貫流率の基準に適合 <input type="checkbox"/> 断熱材の熱抵抗値の基準に適合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適	
	開口部の断熱性能等	開口部比率の区分：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適	
1. 躯体の外皮性能等	断熱構造とする部分	各部の熱貫流率又は各部の断熱材の種類と厚さ	屋根又は天井 ・種別： ・厚さ：	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適
			壁 ・種別： ・厚さ：		
			床（外気に接する床） ・種別： ・厚さ：		
			床（その他の部分） ・種別： ・厚さ：		
	結露防止対策	繊維系断熱材	・繊維系断熱材等の使用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適
		防湿層の設置	<input type="checkbox"/> 防湿層の設置 (除外規定適用：                      )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適
		通気層の設置	<input type="checkbox"/> 通気層の設置 <input type="checkbox"/> 防湿層の設置 (除外規定適用：                      )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適

## 設計内容説明書

## 【一戸建ての住宅】

※印は設計者等が記入のこと

※対象建築物の名称	省エネ太郎邸新築工事
※対象建築物の所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
※設計者等の氏名	向上 誘子
審査者氏名	

認定事項	確認項目	※設計内容説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容	記載図書欄	
	外皮性能等に係る基本事項	地域区分	<input type="checkbox"/> 1地域 <input type="checkbox"/> 2地域 <input type="checkbox"/> 3地域 <input type="checkbox"/> 4地域 <input type="checkbox"/> 5地域 <input checked="" type="checkbox"/> 6地域 <input type="checkbox"/> 7地域 <input type="checkbox"/> 8地域	<input checked="" type="checkbox"/> 計算書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 適
		住宅の構造	<input checked="" type="checkbox"/> 木造住宅 ( <input checked="" type="checkbox"/> 軸組構法 <input type="checkbox"/> 枠組工法 ) <input type="checkbox"/> 鉄骨造住宅 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 (組石造含む。) 住宅 <input type="checkbox"/> その他		
	住宅計算方法に係る事項	外皮平均熱貫流率	外皮平均熱貫流率 (UA) ( 0.76 ) 【W/m <sup>2</sup> K】		
		外皮平均日射熱取得率	冷房期の平均日射熱取得率の計算値 ( 2.4 )		
	住宅仕様基準に係る事項	躯体の断熱性能等	<input type="checkbox"/> 熱貫流率の基準に適合 <input type="checkbox"/> 断熱材の熱抵抗値の基準に適合	<input type="checkbox"/>	
		開口部の断熱性能等	開口部比率の区分：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適
躯体の外皮性能等	断熱構造とする部分	屋根又は天井	屋根又は天井 ・種別：押出法ポリスチレンフォーム保温板 3種 aA ・厚さ：100 mm	<input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 適
		壁	壁 ・硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 ・厚さ：100 mm		
		床 (外気に接する床)	床 (外気に接する床) ・種別：押出法ポリスチレンフォーム保温板 3種 aA ・厚さ：100 mm		
		床 (その他の部分)	床 (その他の部分) ・種別：押出法ポリスチレンフォーム保温板 3種 aA ・厚さ：100 mm		
	結露防止対策	繊維系断熱材	・繊維系断熱材等の使用 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		<input checked="" type="checkbox"/> 適
		防湿層の設置	・防湿層の設置 (除外規定適用： )		<input checked="" type="checkbox"/> 適
		通気層の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 通気層の設置 <input type="checkbox"/> 防湿層の設置 (除外規定適用： )		<input checked="" type="checkbox"/> 適

(つづき)

	開口部の断熱性能	建具の断熱性	建具・ドア枠の材質・ガラスの種類等				□適	
		建具の日射進入対策	方位	建具・ドア枠の材質・ガラスの種類等	庇・軒・付属部材等			□適

2.. 一次 エネルギー 消費量	設備機器に係る概要	暖房方式	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	□適
		冷房方式	<input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	
		換気設備方式	<input type="checkbox"/> ( )		
		給湯設備	<input type="checkbox"/> 給湯熱源機 ( ) <input type="checkbox"/> 太陽熱給湯 <input type="checkbox"/> 太陽熱給湯を使用		
		照明設備	<input type="checkbox"/> 主たる居室 ( ) <input type="checkbox"/> その他居室 ( ) <input type="checkbox"/> 非居室 ( )	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	□適
		太陽光発電の使用について	<input type="checkbox"/> ( ) k W	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	□適
		コージェネレーションの使用について	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	□適

(記入例)

	開口部の断熱性能	建具の断熱性	建具・ドア枠の材質・ガラスの種類等			<input checked="" type="checkbox"/> 平面図	<input checked="" type="checkbox"/> 適
			窓：アルミサッシ、遮熱Low-E複層ガラス、A12			<input checked="" type="checkbox"/> 矩計図	
			ドア：銅製、断熱フラッシュ構造扉				
		建具の日射進入対策	方位	ガラスの種類等	庇・軒・付属部材等	<input checked="" type="checkbox"/> 立面図	<input checked="" type="checkbox"/> 適
共通	遮熱Low-E複層ガラス、A12		無	<input checked="" type="checkbox"/> 矩計図			

2.. 一次 エネルギー 消費量	設備機器に係る概要	暖房方式	・ルームエアコンディショナー 定格暖房エネルギー消費効率：5.21	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 適
		冷房方式	・ルームエアコンディショナー 定格冷房エネルギー消費効率：5.09	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 適
		換気設備方式	・ダクト式第3種換気設備 比消費電力：0.30W/m³h		
		給湯設備	・給湯熱源機（ガス給湯器） ・太陽熱給湯設備の種類（ ）		
		照明設備	・主たる居室（白熱灯を採用しない） ・その他居室（白熱灯を採用しない） ・非居室（白熱灯を採用しない）	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 適
		太陽光発電の使用について	<input type="checkbox"/> （ ）kW	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適
		コージェネレーションの使用について	<input type="checkbox"/> （ ）	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適

(2) 記入例 2 (共同住宅等用<建築物全体及び住戸の部分>)

1) 建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書 (第一号様式)

様式第一 (第一条関係) (日本工業規格 A 列 4 番)

(第一面)

建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 29 条第 1 項の規定により、建築物エネルギー消費性能向上計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

建築物全体  
 建築物の一部 (住戸の部分)  
 建築物の一部 (非住宅部分)

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

様式第一（第一条関係）（日本工業規格A列4番）

(第一面)

建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

〇〇県〇〇市〇〇町  
〇-〇-〇  
建築 太郎 印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第29条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能向上計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】 **複数にチェックがつく場合**

- 建築物全体
- 建築物の一部（住戸の部分）
- 建築物の一部（非住宅部分）

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(第二面)

建築物エネルギー消費性能向上計画

1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項  
〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	
【2. 敷地面積】	m <sup>2</sup>
【3. 建築面積】	m <sup>2</sup>
【4. 延べ面積】	m <sup>2</sup>
【5. 建築物の階数】	(地上) 階 (地下) 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体 戸 認定申請対象住戸 戸
【8. 工事種別】	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修
【9. 構造】	造 一部 造
【10. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 竣工年月日 年 月 日 竣工
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による
【12. 該当する地域の区分】	地域

## (第二面)

## 建築物エネルギー消費性能向上計画

## 1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3		
【2. 敷地面積】	1092.42	m <sup>2</sup>	
【3. 建築面積】	406.60	m <sup>2</sup>	
【4. 延べ面積】	3508.73	m <sup>2</sup>	
【5. 建築物の階数】	(地上)	10 階	(地下) 1 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input checked="" type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物		
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体                    45 戸 認定申請対象住戸            45 戸		
【8. 工事種別】	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修		
【9. 構造】	鉄筋コンクリート造 一部 造		
【10. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
	竣工年月日	年 月 日	竣工
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による		
【12. 該当する地域の区分】	6 地域		





(第三面)

[住戸に関する事項]

【1. 住戸の番号】		
【2. 住戸の存する階】	階	
【3. 専用部分の床面積】	m <sup>2</sup>	
【4. 住戸のエネルギー消費性能】		
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項		
□外皮平均熱貫流率	W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値	W/(m <sup>2</sup> ・K))
冷房期の平均日射熱取得率	(基準値	)
□国土交通大臣が認める方法及びその結果	(	)
□基準対象外		
2. 一次エネルギー消費量に関する事項		
□誘導基準一次エネルギー消費量	GJ/年	
設計一次エネルギー消費量	GJ/年	
BEI (	)	
□国土交通大臣が認める方法及びその結果	(	)
【5. 住戸に係る認定の申請の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

(第三面)

〔住戸に関する事項〕 **住戸毎に作成することが基本**

【1. 住戸の番号】	201～1001 (Aタイプ)		
【2. 住戸の存する階】	2～10 階		
【3. 専用部分の床面積】	〇〇 m <sup>2</sup>		
【4. 住戸のエネルギー消費性能】	<p>1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>外皮平均熱貫流率 0.76 W/(m<sup>2</sup>・K) (基準値 0.87 W/(m<sup>2</sup>・K))</p> <p>冷房期の平均日射熱取得率 2.4 (基準値 2.8 )</p> <p><input type="checkbox"/>国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )</p> <p><input type="checkbox"/>基準対象外</p> <p>2. 一次エネルギー消費量に関する事項</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>誘導基準一次エネルギー消費量 104.5 GJ/年</p> <p>設計一次エネルギー消費量 91.8 GJ/年</p> <p>BEI ( 0.79 )</p> <p><input type="checkbox"/>国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )</p>		
【5. 住戸に係る認定の申請の有無】	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

(第三面)

[住戸に関する事項]

【1. 住戸の番号】		
【2. 住戸の存する階】	階	
【3. 専用部分の床面積】	m <sup>2</sup>	
【4. 住戸のエネルギー消費性能】		
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項		
□外皮平均熱貫流率	W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値	W/(m <sup>2</sup> ・K))
冷房期の平均日射熱取得率	(基準値	)
□国土交通大臣が認める方法及びその結果	(	)
□基準対象外		
2. 一次エネルギー消費量に関する事項		
□誘導基準一次エネルギー消費量	GJ/年	
設計一次エネルギー消費量	GJ/年	
BEI (	)	
□国土交通大臣が認める方法及びその結果	(	)
【5. 住戸に係る認定の申請の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

(第三面)

〔住戸に関する事項〕

**住戸毎に作成することが基本**

【1. 住戸の番号】	<i>202~1002・203~1003・204~1004 (Bタイプ)</i>		
【2. 住戸の存する階】	<i>2~10 階</i>		
【3. 専用部分の床面積】	<i>〇〇 m<sup>2</sup></i>		
【4. 住戸のエネルギー消費性能】	<p>1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>外皮平均熱貫流率 <i>0.66</i> W/(m<sup>2</sup>・K) (基準値 <i>0.87</i> W/(m<sup>2</sup>・K))</p> <p>冷房期の平均日射熱取得率 <i>2.2</i> (基準値 <i>2.8</i> )</p> <p><input type="checkbox"/>国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )</p> <p><input type="checkbox"/>基準対象外</p> <p>2. 一次エネルギー消費量に関する事項</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>誘導基準一次エネルギー消費量 <i>103.61</i> GJ/年</p> <p>設計一次エネルギー消費量 <i>82.5</i> GJ/年</p> <p>BEI ( <i>0.69</i> )</p> <p><input type="checkbox"/>国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )</p>		
【5. 住戸に係る認定の申請の有無】	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

(第三面)

[住戸に関する事項]

【1. 住戸の番号】		
【2. 住戸の存する階】	階	
【3. 専用部分の床面積】	m <sup>2</sup>	
【4. 住戸のエネルギー消費性能】		
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項		
□外皮平均熱貫流率	W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値	W/(m <sup>2</sup> ・K))
冷房期の平均日射熱取得率	(基準値	)
□国土交通大臣が認める方法及びその結果	(	)
□基準対象外		
2. 一次エネルギー消費量に関する事項		
□誘導基準一次エネルギー消費量	GJ/年	
設計一次エネルギー消費量	GJ/年	
BEI (	)	
□国土交通大臣が認める方法及びその結果	(	)
【5. 住戸に係る認定の申請の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

(第三面)

〔住戸に関する事項〕 **住戸毎に作成することが基本**

【1. 住戸の番号】	205~1005 (Cタイプ)		
【2. 住戸の存する階】	2~10 階		
【3. 専用部分の床面積】	〇〇 m <sup>2</sup>		
【4. 住戸のエネルギー消費性能】	<p>1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>外皮平均熱貫流率 0.76 W/(m<sup>2</sup>・K) (基準値 0.87 W/(m<sup>2</sup>・K))</p> <p>冷房期の平均日射熱取得率 2.4 (基準値 2.8 )</p> <p><input type="checkbox"/>国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )</p> <p><input type="checkbox"/>基準対象外</p> <p>2. 一次エネルギー消費量に関する事項</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>誘導基準一次エネルギー消費量 104.4 GJ/年</p> <p>設計一次エネルギー消費量 90.5 GJ/年</p> <p>BEI ( 0.78 )</p> <p><input type="checkbox"/>国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )</p>		
【5. 住戸に係る認定の申請の有無】	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

(第四面)

2. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に係る資金計画

--

3. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日]	年	月	日
[工事の完了の予定年月日]	年	月	日

(第四面)

2. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に係る資金計画

販売予定価格の合算 (●戸分) ●億●千万円 (戸当たり平均●万円)
------------------------------------

3. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日]	● 年 ● 月 ● 日
[工事の完了の予定年月日]	▲ 年 ▲ 月 ▲ 日

(3) 記入例 3 (非住宅用<建築物全体 (モデル建物法) >)

1) 建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書 (第一号様式)

様式第一 (第一条関係) (日本工業規格 A 列 4 番)

(第一面)

建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 29 条第 1 項の規定により、建築物エネルギー消費性能向上計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体
- 建築物の一部 (住戸の部分)
- 建築物の一部 (非住宅部分)

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

様式第一（第一条関係）（日本工業規格A列4番）

（第一面）

建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名 建築 太郎 印

〇〇県〇〇市〇〇町

〇-〇-〇

建築 太郎 印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第29条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能向上計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体
- 建築物の一部（住戸の部分）
- 建築物の一部（非住宅部分）

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(第二面)

建築物エネルギー消費性能向上計画

1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

[建築物に関する事項]

【1. 地名地番】	
【2. 敷地面積】	m <sup>2</sup>
【3. 建築面積】	m <sup>2</sup>
【4. 延べ面積】	m <sup>2</sup>
【5. 建築物の階数】	(地上) 階 (地下) 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体 戸 認定申請対象住戸 戸
【8. 工事種別】	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修
【9. 構造】	造 一部 造
【10. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 竣工年月日 年 月 日 竣工
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による
【12. 該当する地域の区分】	地域

## (第二面)

## 建築物エネルギー消費性能向上計画

## 1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3		
【2. 敷地面積】	1650.42	m <sup>2</sup>	
【3. 建築面積】	1206.60	m <sup>2</sup>	
【4. 延べ面積】	9508.73	m <sup>2</sup>	
【5. 建築物の階数】	(地上)	9 階	(地下) 1 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input checked="" type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物		
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体	戸	
	認定申請対象住戸	戸	
【8. 工事種別】	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修		
【9. 構造】	鉄筋コンクリート造	一部	造
【10. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	竣工年月日	年	月
			日
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による		
【12. 該当する地域の区分】	6	地域	

## 【13. 建築物のエネルギー消費性能】

## 1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項

## (1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

基準省令第8条第1号イ(1)の基準 年間熱負荷係数 MJ/(㎡・年) (基準値 )  
 基準省令第8条第1号イ(2)の基準 BPI ( )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

基準対象外

## (2) 一戸建ての住宅

外皮平均熱貫流率 W/(㎡・K) (基準値 )  
 冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

基準対象外

## 2. 一次エネルギー消費量に関する事項

## (1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

基準省令第8条第1号ロ(1)の基準 誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
 基準省令第8条第1号ロ(2)の基準 基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
 設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
 BEI ( )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

## (2) 住宅又は複合建築物の住宅部分

誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
 基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
 設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
 BEI ( )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

## (3) 複合建築物

誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
 設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
 BEI ( )

## 【14. 確認の特例】

法第30条第2項の規定による申出の有無 有 無

## 【15. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】

## 【16. 備考】

【13. 建築物のエネルギー消費性能】

1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

基準省令第8条第1号イ(1)の基準 年間熱負荷係数 MJ/(㎡・年) (基準値 )  
 基準省令第8条第1号イ(2)の基準  
B P I ( 1.00 ) MJ/(㎡・年)

モデル建物法の場合

モデル建物法の場合はここにチェック

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

基準対象外

(2) 一戸建ての住宅

外皮平均熱貫流率 W/(㎡・K) (基準値 )  
冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

基準対象外

2. 一次エネルギー消費量に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

基準省令第8条第1号ロ(1)の基準 誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
B E I ( 0.80 )

モデル建物法の場合

モデル建物法の場合はここにチェック

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分

誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
B E I ( )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(3) 複合建築物

誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
B E I ( )

【14. 確認の特例】

法第30条第2項の規定による申出の有無  有  無

【15. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】

【16. 備考】

(第四面)

2. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に係る資金計画

--

3. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日]	年	月	日
[工事の完了の予定年月日]	年	月	日

(第四面)

2. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に係る資金計画

賃貸予定価格の合算 月当たり●億●千万円 (㎡当たり月当たり平均●円)

3. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日] ● 年 ● 月 ● 日

[工事の完了の予定年月日] ▲ 年 ▲ 月 ▲ 日

(4) 記入例4 (非住宅用<建築物全体> (標準入力法))

1) 建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書 (第一号様式)

様式第一 (第一条関係) (日本工業規格A列4番)

(第一面)

建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第29条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能向上計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体
- 建築物の一部 (住戸の部分)
- 建築物の一部 (非住宅部分)

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

様式第一（第一条関係）（日本工業規格A列4番）

（第一面）

建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇町  
〇-〇-〇  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名 建築 太郎 印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第29条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能向上計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体
- 建築物の一部（住戸の部分）
- 建築物の一部（非住宅部分）

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(第二面)

建築物エネルギー消費性能向上計画

1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

[建築物に関する事項]

【1. 地名地番】	
【2. 敷地面積】	m <sup>2</sup>
【3. 建築面積】	m <sup>2</sup>
【4. 延べ面積】	m <sup>2</sup>
【5. 建築物の階数】	(地上) 階 (地下) 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体 戸 認定申請対象住戸 戸
【8. 工事種別】	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修
【9. 構造】	造 一部 造
【10. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 竣工年月日 年 月 日 竣工
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による
【12. 該当する地域の区分】	地域

## (第二面)

## 建築物エネルギー消費性能向上計画

## 1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3		
【2. 敷地面積】	1650.42	m <sup>2</sup>	
【3. 建築面積】	1206.60	m <sup>2</sup>	
【4. 延べ面積】	9508.73	m <sup>2</sup>	
【5. 建築物の階数】	(地上)	9 階	(地下) 1 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input checked="" type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物		
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体	戸	
	認定申請対象住戸	戸	
【8. 工事種別】	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修		
【9. 構造】	鉄筋コンクリート造	一部	造
【10. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	竣工年月日	年	月
			日
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による		
【12. 該当する地域の区分】	6	地域	



【13. 建築物のエネルギー消費性能】

1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

標準入力法の場合

基準省令第8条第1号イ(1)の基準 年間熱負荷係数 **429.1** MJ/(m<sup>2</sup>・年) (基準値 **450** MJ/(m<sup>2</sup>・年))  
B P I ( **0.96** )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

標準入力法の場合はここにチェック

基準対象外

(2) 一戸建ての住宅

外皮平均熱貫流率 W/(m<sup>2</sup>・K) (基準値 W/(m<sup>2</sup>・K))  
冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

基準対象外

2. 一次エネルギー消費量に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

標準入力法の場合

基準省令第8条第1号ロ(1)の基準 誘導基準一次エネルギー消費量 **7054.9** GJ/年  
基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
設計一次エネルギー消費量 **6911.7** GJ/年  
B E I ( **0.79** )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

標準入力法の場合はここにチェック

(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分

誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
B E I ( )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(3) 複合建築物

誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
B E I ( )

【14. 確認の特例】

法第30条第2項の規定による申出の有無  有  無

【15. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】

【16. 備考】

(第四面)

2. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に係る資金計画

--

3. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日]	年	月	日
[工事の完了の予定年月日]	年	月	日

(第四面)

2. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に係る資金計画

賃貸予定価格の合算 月当たり●億●千万円 (㎡当たり月当たり平均●円)

3. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日] ● 年 ● 月 ● 日

[工事の完了の予定年月日] ▲ 年 ▲ 月 ▲ 日

(5) 記入例5 (複合建築物用<建築物全体及び住戸の部分>)

非住宅部分にモデル建物法を用いた場合

1) 建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書 (第一号様式)

様式第一 (第一条関係) (日本工業規格A列4番)

(第一面)

建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代 表 者 の 氏 名

印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第29条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能向上計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体
- 建築物の一部 (住戸の部分)
- 建築物の一部 (非住宅部分)

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

様式第一（第一条関係）（日本工業規格A列4番）

（第一面）

建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

〇〇県〇〇市〇〇町  
〇-〇-〇  
建築 太郎 印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第29条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能向上計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体
- 建築物の一部（住戸の部分）
- 建築物の一部（非住宅部分）

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(第二面)

建築物エネルギー消費性能向上計画

1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

[建築物に関する事項]

【1. 地名地番】	
【2. 敷地面積】	m <sup>2</sup>
【3. 建築面積】	m <sup>2</sup>
【4. 延べ面積】	m <sup>2</sup>
【5. 建築物の階数】	(地上) 階 (地下) 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体 戸 認定申請対象住戸 戸
【8. 工事種別】	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修
【9. 構造】	造 一部 造
【10. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 竣工年月日 年 月 日 竣工
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による
【12. 該当する地域の区分】	地域

(記入例)

(第二面)

建築物エネルギー消費性能向上計画

1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

[建築物に関する事項]

【1. 地名地番】	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3		
【2. 敷地面積】	1092.42	m <sup>2</sup>	
【3. 建築面積】	406.60	m <sup>2</sup>	
【4. 延べ面積】	3508.73	m <sup>2</sup>	
【5. 建築物の階数】	(地上)	10 階	(地下) 1 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 複合建築物		
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体	47	戸
	認定申請対象住戸	9	戸
【8. 工事種別】	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修		
【9. 構造】	鉄筋コンクリート造 一部 造		
【10. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
	竣工年月日	年 月 日	竣工
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による		
【12. 該当する地域の区分】	6	地域	

【13. 建築物のエネルギー消費性能】

1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

- 基準省令第8条第1号イ(1)の基準 年間熱負荷係数 MJ/(m<sup>2</sup>・年) (基準値 )  
 基準省令第8条第1号イ(2)の基準 B P I ( )  
 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )  
 基準対象外

(2) 一戸建ての住宅

- 外皮平均熱貫流率 W/(m<sup>2</sup>・K) (基準値 )  
 冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 )  
 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )  
 基準対象外

2. 一次エネルギー消費量に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

- 基準省令第8条第1号ロ(1)の基準 誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
 基準省令第8条第1号ロ(2)の基準 基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
B E I ( )  
 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分

- 誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
 基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
B E I ( )  
 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(3) 複合建築物

- 誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
B E I ( )

【14. 確認の特例】

法第30条第2項の規定による申出の有無 有 無

【15. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】

【16. 備考】

## 【13. 建築物のエネルギー消費性能】

## 1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項

## (1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

モデル建物法の場合

- 基準省令第8条第1号イ(1)の基準 年間熱負荷係数 MJ/(㎡・年) (基準値 )
- 基準省令第8条第1号イ(2)の基準 B P I ( 1.00 ) MJ/(㎡・年)
- 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )
- 基準対象外

モデル建物法の場合はここにチェック

## (2) 一戸建ての住宅

- 外皮平均熱貫流率 W/(㎡・K) (基準値 ) W/(㎡・K)
- 冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 )
- 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )
- 基準対象外

## 2. 一次エネルギー消費量に関する事項

## (1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

モデル建物法の場合

- 基準省令第8条第1号ロ(1)の基準 誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年
- 基準省令第8条第1号ロ(2)の基準 基準一次エネルギー消費量 GJ/年
- 設計一次エネルギー消費量 GJ/年
- B E I ( 0.80 )
- 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

モデル建物法の場合はここにチェック

## (2) 住宅又は複合建築物の住宅部分

住宅部分は共用部分も含む

- 誘導基準一次エネルギー消費量 4979.9 GJ/年
- 基準一次エネルギー消費量 GJ/年
- 設計一次エネルギー消費量 5188.1 GJ/年
- B E I ( 0.90 )
- 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

## (3) 複合建築物

- 誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年
- 設計一次エネルギー消費量 GJ/年
- B E I ( )

## 【13. 確認の特例】

法第30条第2項の規定による申出の有無  有  無

## 【14. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】

## 【15. 備考】

(第三面)

〔住戸に関する事項〕

【1. 住戸の番号】	
【2. 住戸の存する階】	階
【3. 専用部分の床面積】	m <sup>2</sup>
【4. 住戸のエネルギー消費性能】	
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項	
<input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率	W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値 W/(m <sup>2</sup> ・K))
冷房期の平均日射熱取得率	(基準値 )
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	( )
<input type="checkbox"/> 基準対象外	
2. 一次エネルギー消費量に関する事項	
<input type="checkbox"/> 誘導基準一次エネルギー消費量	GJ/年
設計一次エネルギー消費量	GJ/年
BEI ( )	
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	( )
【5. 住戸に係る認定の申請の有無】 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

(第三面)

〔住戸に関する事項〕 **住戸毎に作成することが基本**

【1. 住戸の番号】	205、305、405、505、605、705、805、905、1005	
【2. 住戸の存する階】	2～10 階	
【3. 専用部分の床面積】	〇〇 m <sup>2</sup>	
【4. 住戸のエネルギー消費性能】		
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項		
<input checked="" type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率	0.76 W/(m <sup>2</sup> ・K)	(基準値 0.87 W/(m <sup>2</sup> ・K))
冷房期の平均日射熱取得率	1.4	(基準値 2.8 )
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	( )	
<input type="checkbox"/> 基準対象外		
2. 一次エネルギー消費量に関する事項		
<input checked="" type="checkbox"/> 誘導基準一次エネルギー消費量	104.6 GJ/年	
設計一次エネルギー消費量	102.3 GJ/年	
BEI ( )	0.88	
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	( )	
【5. 住戸に係る認定の申請の有無】	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

(第四面)

2. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に係る資金計画

--

3. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日]	年	月	日
[工事の完了の予定年月日]	年	月	日

(第四面)

2. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に係る資金計画

(非住宅部分)

賃貸予定価格の合算 月当たり●億●千万円 (㎡当たり月当たり平均●万円)

(住宅部分)

販売予定価格の合算 (●戸分) ●億●千万円 (戸当たり平均●万円)

3. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日]

● 年 ● 月 ● 日

[工事の完了の予定年月日]

● 年 ● 月 ● 日

(6) 記入例6 (複合建築物用<建築物全体及び住戸の部分>)

非住宅部分に標準入力法を用いた場合

1) 建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書 (第一号様式)

様式第一 (第一条関係) (日本工業規格A列4番)

(第一面)

建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第29条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能向上計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体
- 建築物の一部 (住戸の部分)
- 建築物の一部 (非住宅部分)

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(記入例)

様式第一 (第一条関係) (日本工業規格A列4番)

(第一面)

建築物エネルギー消費性能向上計画認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇町  
〇-〇-〇  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名 建築 太郎 印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第29条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能向上計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体
- 建築物の一部 (住戸の部分)
- 建築物の一部 (非住宅部分)

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(第二面)

建築物エネルギー消費性能向上計画

1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

[建築物に関する事項]

【1. 地名地番】	
【2. 敷地面積】	m <sup>2</sup>
【3. 建築面積】	m <sup>2</sup>
【4. 延べ面積】	m <sup>2</sup>
【5. 建築物の階数】	(地上) 階 (地下) 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体 戸 認定申請対象住戸 戸
【8. 工事種別】	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修
【9. 構造】	造 一部 造
【10. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 竣工年月日 年 月 日 竣工
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による
【12. 該当する地域の区分】	地域

(記入例)

(第二面)

建築物エネルギー消費性能向上計画

1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

[建築物に関する事項]

【1. 地名地番】	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3		
【2. 敷地面積】	1092.42	m <sup>2</sup>	
【3. 建築面積】	406.60	m <sup>2</sup>	
【4. 延べ面積】	3508.73	m <sup>2</sup>	
【5. 建築物の階数】	(地上)	10 階	(地下) 1 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 複合建築物		
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体	47	戸
	認定申請対象住戸	9	戸
【8. 工事種別】	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修		
【9. 構造】	鉄筋コンクリート造 一部 造		
【10. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
	竣工年月日	年 月 日	竣工
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による		
【12. 該当する地域の区分】	6	地域	

**【13. 建築物のエネルギー消費性能】**

1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

- 基準省令第8条第1号イ(1)の基準 年間熱負荷係数 MJ/(㎡・年) (基準値 )  
 基準省令第8条第1号イ(2)の基準 B P I ( )  
 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )  
 基準対象外

(2) 一戸建ての住宅

- 外皮平均熱貫流率 W/(㎡・K) (基準値 )  
冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 )  
 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )  
 基準対象外

2. 一次エネルギー消費量に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

- 基準省令第8条第1号ロ(1)の基準 誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
 基準省令第8条第1号ロ(2)の基準 基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
B E I ( )  
 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分

- 誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
B E I ( )  
 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(3) 複合建築物

- 誘導基準一次エネルギー消費量 GJ/年  
設計一次エネルギー消費量 GJ/年  
B E I ( )

**【14. 確認の特例】**

法第30条第2項の規定による申出の有無 有 無

**【15. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】**

**【16. 備考】**

【13. 建築物のエネルギー消費性能】

1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

標準入力法の場合

基準省令第8条第1号イ(1)の基準 年間熱負荷係数  $429.1 \text{ MJ}/(\text{m}^2 \cdot \text{年})$  (基準値  $450 \text{ MJ}/(\text{m}^2 \cdot \text{年})$ )  
B P I (  $0.96$  )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

基準対象外

(2) 一戸建ての住宅

外皮平均熱貫流率  $W/(\text{m}^2 \cdot \text{K})$  (基準値  $W/(\text{m}^2 \cdot \text{K})$ )  
冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

基準対象外

2. 一次エネルギー消費量に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

標準入力法の場合

基準省令第8条第1号ロ(1)の基準 誘導基準一次エネルギー消費量  $8131.4 \text{ GJ}/\text{年}$   
基準一次エネルギー消費量  $6911.7 \text{ GJ}/\text{年}$   
設計一次エネルギー消費量  $6911.7 \text{ GJ}/\text{年}$   
B E I ( )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分

住宅部分は共用部分も含む

誘導基準一次エネルギー消費量  $848.2 \text{ GJ}/\text{年}$   
基準一次エネルギー消費量  $721.0 \text{ GJ}/\text{年}$   
設計一次エネルギー消費量  $721.0 \text{ GJ}/\text{年}$   
B E I ( )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(3) 複合建築物

誘導基準一次エネルギー消費量  $7268.5 \text{ GJ}/\text{年}$   
設計一次エネルギー消費量  $7632.7 \text{ GJ}/\text{年}$   
B E I (  $0.85$  )

非住宅部分、住宅部分それぞれで誘導基準適合ではなく、非住宅、住宅の一次エネルギー消費量の合計で誘導基準適合する場合は(3)に記載

【13. 確認の特例】

法第30条第2項の規定による申出の有無  有  無

【14. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】

【15. 備考】

(第三面)

〔住戸に関する事項〕

【1. 住戸の番号】	
【2. 住戸の存する階】	階
【3. 専用部分の床面積】	m <sup>2</sup>
【4. 住戸のエネルギー消費性能】	
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項	
<input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率	W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値 W/(m <sup>2</sup> ・K))
冷房期の平均日射熱取得率	(基準値 )
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	( )
<input type="checkbox"/> 基準対象外	
2. 一次エネルギー消費量に関する事項	
<input type="checkbox"/> 誘導基準一次エネルギー消費量	GJ/年
設計一次エネルギー消費量	GJ/年
BEI ( )	
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	( )
【5. 住戸に係る認定の申請の有無】 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

(第三面)

〔住戸に関する事項〕 **住戸毎に作成することが基本**

【1. 住戸の番号】	205、305、405、505、605、705、805、905、1005	
【2. 住戸の存する階】	2～10 階	
【3. 専用部分の床面積】	〇〇 m <sup>2</sup>	
【4. 住戸のエネルギー消費性能】		
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項		
<input checked="" type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率	0.76 W/(m <sup>2</sup> ・K)	(基準値 0.87 W/(m <sup>2</sup> ・K))
冷房期の平均日射熱取得率	1.4	(基準値 2.8 )
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	( )	
<input type="checkbox"/> 基準対象外		
2. 一次エネルギー消費量に関する事項		
<input checked="" type="checkbox"/> 誘導基準一次エネルギー消費量	104.5 GJ/年	
設計一次エネルギー消費量	102.3 GJ/年	
BEI (	0.88	)
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	( )	
【5. 住戸に係る認定の申請の有無】	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

(第四面)

2. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に係る資金計画

--

3. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日]	年	月	日
[工事の完了の予定年月日]	年	月	日

(第四面)

2. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に係る資金計画

(非住宅部分)

賃貸予定価格の合算 月当たり●億●千万円 (㎡当たり月当たり平均●万円)

(住宅部分)

販売予定価格の合算 (●戸分) ●億●千万円 (戸当たり平均●万円)

3. エネルギー消費性能の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日]

● 年 ● 月 ● 日

[工事の完了の予定年月日]

● 年 ● 月 ● 日

## 2.認定表示

(1) 記入例 1 (木造戸建住宅)

1) 認建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書 (第五号様式)

様式第五 (第七条関係) (日本工業規格 A 列 4 番)

(第一面)

建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 36 条第 1 項の規定により、建築物エネルギー消費性能基準に適合している旨の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実  
に相違ありません。

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(記入例)

様式第五 (第七条関係) (日本工業規格A列4番)

(第一面)

建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

〇〇県〇〇市〇〇町  
〇-〇-〇  
印  
建築 太郎

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第36条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能基準に適合している旨の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(第二面)

1. 建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

[建築物に関する事項]

【1. 地名地番】	
【2. 敷地面積】	m <sup>2</sup>
【3. 建築面積】	m <sup>2</sup>
【4. 延べ面積】	m <sup>2</sup>
【5. 建築物の階数】	(地上) 階 (地下) 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体 戸
【8. 構造】	造 一部 造
【9. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 竣工年月日 年 月 日 竣工
【10. 建築物の構造及び設備の概要】	別添の申請に係る建築物のエネルギー消費性能が建築物エネルギー消費性能基準に適合するものであることを説明した図書による
【11. 該当する地域の区分】	地域
【12. 建築物全体のエネルギー消費性能】	1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項 <input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率 W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値 W/(m <sup>2</sup> ・K)) 冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 ) <input type="checkbox"/> 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準 <input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( ) <input type="checkbox"/> 基準対象外

## (第二面)

1. 建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項  
〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3		
【2. 敷地面積】	120.42	m <sup>2</sup>	
【3. 建築面積】	76.60	m <sup>2</sup>	
【4. 延べ面積】	140.73	m <sup>2</sup>	
【5. 建築物の階数】	(地上)	2	階 (地下) 階
【6. 建築物の用途】	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物		
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体		戸
【8. 構造】	木造軸組工法	一部	造
【9. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
	竣工年月日	年 月 日	竣工
【10. 建築物の構造及び設備の概要】	別添の申請に係る建築物のエネルギー消費性能が建築物エネルギー消費性能基準に適合するものであることを説明した図書による		
【11. 該当する地域の区分】	6	地域	
【12. 建築物全体のエネルギー消費性能】	1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項 <input checked="" type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率    0.76 W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値 0.87 W/(m <sup>2</sup> ・K)) 冷房期の平均日射熱取得率    2.4 (基準値 2.8 ) <input type="checkbox"/> 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準 <input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( ) <input type="checkbox"/> 基準対象外		





(記載注意事項、以下記載例において省略。)

(注意)

## 1. 各面共通関係

- ① この様式において使用する用語は、特別の定めのある場合を除くほか、建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(平成〇〇〇年経済産業省令・国土交通省令第〇〇〇号。以下「基準省令」という。)において使用する用語の例によります。
- ② この様式において、次に掲げる用語の意義は、それぞれ次のとおりとします。
  - (1) 一戸建ての住宅 一棟の建築物からなる一戸の住宅
  - (2) 共同住宅等 共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅

## 2. 第一面関係

- ① 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
- ② 申請者の氏名(法人にあっては、その代表者の氏名)の記載を自署で行う場合には、押印を省略することができます。

## 3. 第二面関係

- ① 【6. 建築物の用途】の欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
- ② 【7. 建築物の住戸の数】の欄は、【6. 建築物の用途】で「共同住宅等」又は「複合建築物」を選んだ場合のみ記載してください。
- ③ 【9. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】の欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れ、「有」の場合は申請に係る建築物の新築工事の竣工年月日を記載して下さい。
- ④ 【12. 建築物全体のエネルギー消費性能】の欄は、以下の内容に従って記載してください。

「1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項」については、以下の内容に従って記載して下さい。

- (1) 申請に係る建築物が一戸建ての住宅の場合のみ記載して下さい。
- (2) 「外皮平均熱貫流率」及び「冷房期の平均日射熱取得率」、「外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準」、「国土交通大臣が認める方法及びその結果」又は「基準対象外」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れた上で記載してください。「外皮平均熱貫流率」及び「冷房期の平均日射熱取得率」については、それぞれの基準値(基準省令第1条第1項第2号イ(1)の表に掲げる数値をいう。)と併せて記載してください。「外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準」を用いる場合は、別紙に詳細を記載してください。
- (3) この欄における次に掲げる用語の意義は、それぞれ次に定めるところによります。
  - i) 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準 基準省令第1条第1項第2号イ(2)に規定する国土交通大臣が定める基準をいいます。
  - ii) 基準対象外 基準省令附則第4条第1項の規定の適用を受ける場合をいいます。

「2. 一次エネルギー消費量に関する事項」については、以下の内容に従って記載して下さい。

- (1) 申請に係る建築物が非住宅建築物の場合は「(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分」に、住宅の場合は、「(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分」に記載して下さい。申請に係る建築物が複合建築物であって、基準省令第1条第1項第3号イの基準による場合は、非住宅部分及び住宅部分について、それぞれ「(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分」及び「(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分」に記載して下さい。申請に係る建築物が複合建築物であって、基準省令第1条第1項第3号ロの基準による場合は、複合建築物全体について「(3) 複合建築物」に記載して下さい。

#### 4. 別紙関係

- ① 1 欄は、共同住宅等又は複合建築物の住戸に係る措置について、住戸ごとに記入してください。なお、申請に係る住戸の数が二以上である場合は、当該各住戸に関して記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。
- ② 1 欄の(1)の1)から3)までにおける「断熱材の施工法」は、部位ごとに断熱材の施工法を複数用いている場合は、主たる施工法のチェックボックスに「✓」マークを入れてください。なお、主たる施工法以外の施工法について、主たる施工法に準じて、別紙のうち当該部位に係る事項を記入したものを添えることを妨げるものではありません。
- ③ 1 欄の(1)の1)から4)までにおける「断熱性能」は、「断熱材の種別及び厚さ」、「熱貫流率」又は「熱抵抗値」のうち、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れ、併せて必要な事項を記入してください。「断熱材の種別及び厚さ」については、当該部位に使用している断熱材の材料名及び厚さを記入してください。
- ④ 1 欄の(1)の3)及び4)における(イ)及び(ロ)の「該当箇所の有無」は、該当箇所がある場合には「有」のチェックボックスに、「✓」マークを入れてください。
- ⑤ 1 欄の(1)の5)の「開口部比率」とは、外皮面積の合計に占める開口部の面積の割合をいいます。
- ⑥ 1 欄の(1)の5)は、開口部のうち主たるものを対象として、必要な事項を記入してください。
- ⑦ 1 欄の(1)の5)の「断熱性能」は、「建具等の種類」又は「熱貫流率」の該当するチェックボックスに「✓」マークを入れ、必要な事項を記入してください。
- ⑧ 1 欄の(1)の5)の「日射遮蔽性能」は、「ガラスの日射熱取得率」、「付属部材」又は「ひさし、軒等」について該当するチェックボックスに「✓」マークを入れ、必要な事項を記入してください。
- ⑨ 1 欄の(1)の6)の「該当箇所の有無」は、該当箇所がある場合には、「有」のチェックボックスに「✓」マークを入れ、必要な事項を記入してください。
- ⑩ 1 欄の(2)の「暖房」、「冷房」、「換気」、「給湯」については、住戸に設置する設備機器とその効率を記載してください。設備機器が複数ある場合は最も効率の低い設備機器とその効率を記載してください。「効率」の欄には、「暖房」では熱源機の熱効率又は暖房能力を消費電力で除した値を、「冷房」では冷房能力を消費電力で除した値を、「換気」では換気回数及び比消費電力（全般換気設備の消費電力を設計風量で除した値をいう。以下同じ。）（熱交換換気設備を採用する場合にあっては、比消費電力を有効換気量率で除した値）を、「給湯」では熱源機の熱効率をそれぞれ記載してください。ただし、浴室等、台所及び洗面所がない場合は、「給湯」の欄は記載する必要はありません。
- ⑪ 1 欄に書き表せない事項で特に記入すべき事項は、2 欄に記入し、又は別紙に記入して添えてください。

2) 設計内容説明書（参考様式）

設計内容説明書	
【一戸建ての住宅】 <span style="float: right;">※印は設計者等が記入のこと</span>	
※対象建築物の名称	
※対象建築物の所在地	
※設計者等の氏名	
審査者氏名	

認定事項	確認項目	※設計内容説明欄			設計内容確認欄
		項目	設計内容	記載図書欄	
	外皮性能等に係る基本事項	地域区分	<input type="checkbox"/> 1地域 <input type="checkbox"/> 2地域 <input type="checkbox"/> 3地域 <input type="checkbox"/> 4地域 <input type="checkbox"/> 5地域 <input type="checkbox"/> 6地域 <input type="checkbox"/> 7地域 <input type="checkbox"/> 8地域	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適
		住宅の構造	<input type="checkbox"/> 木造住宅 ( <input type="checkbox"/> 軸組構法 <input type="checkbox"/> 枠組工法 ) <input type="checkbox"/> 鉄骨造住宅 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 (組石造含む。) 住宅 <input type="checkbox"/> その他		
	住宅計算方法に係る事項	外皮平均熱貫流率	外皮平均熱貫流率 (UA) ( ) 【W/m <sup>2</sup> K】		
		外皮平均日射熱取得率	冷房期の平均日射熱取得率の計算値 ( )		
	住宅仕様基準に係る事項	躯体の断熱性能等	<input type="checkbox"/> 熱貫流率の基準に適合 <input type="checkbox"/> 断熱材の熱抵抗値の基準に適合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適
		開口部の断熱性能等	開口部比率の区分：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適
1. 躯体の外皮性能等	断熱構造とする部分	各部の熱貫流率又は各部の断熱材の種類と厚さ	屋根又は天井 ・種別： ・厚さ：	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適
			壁 ・種別： ・厚さ：		
			床 (外気に接する床) ・種別： ・厚さ：		
			床 (その他の部分) ・種別： ・厚さ：		
	結露防止対策	繊維系断熱材	・繊維系断熱材等の使用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 適	
		防湿層の設置	<input type="checkbox"/> 防湿層の設置 (除外規定適用： )	<input type="checkbox"/> 適	
		通気層の設置	<input type="checkbox"/> 通気層の設置 <input type="checkbox"/> 防湿層の設置 (除外規定適用： )	<input type="checkbox"/> 適	



(つづき)

	開口部の断熱性能	建具の断熱性	建具・ドア枠の材質・ガラスの種類等				□適	
		建具の日射進入対策	方位	建具・ドア枠の材質・ガラスの種類等	庇・軒・付属部材等			□適

2.. 一 次 エ ネ ル ギ ー 消 費 量	設 備 機 器 に 係 る 概 要	暖房方式	□ ( )	□仕上表 □建具表 □矩計図 □	□適
		冷房方式	□ ( ) □	□仕上表 □建具表 □矩計図 □	□適
		換気設備方式	□ ( )		
		給湯設備	□ 給湯熱源機 ( ) □ 太陽熱給湯 □太陽熱給湯を使用		
		照明設備	□ 主たる居室 ( ) □ その他居室 ( ) □ 非居室 ( )	□仕上表 □建具表 □矩計図 □	□適
		太陽光発電の使用について	□ ( ) kW	□仕上表 □建具表 □矩計図 □	□適
		コージェネレーションの使用について	□ ( )	□仕上表 □建具表 □矩計図 □	□適

(記入例)

	開口部の断熱性能	建具の断熱性	建具・ドア枠の材質・ガラスの種類等			<input checked="" type="checkbox"/> 平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図	<input checked="" type="checkbox"/> 適	
			窓：アルミサッシ、遮熱Low-E複層ガラス、A12 ドア：鋼製、断熱フラッシュ構造扉					
		建具の日射進入対策	方位	ガラスの種類等	庇・軒・付属部材等		<input checked="" type="checkbox"/> 立面図 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図	<input checked="" type="checkbox"/> 適
			共通	遮熱Low-E複層ガラス、A12	無			

2.. 一 次 エ ネ ル ギ ー 消 費 量	設備機器に係る概要	暖房方式	・ルームエアコンディショナー 定格暖房エネルギー消費効率：5.21			<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 適	
		冷房方式	・ルームエアコンディショナー 定格冷房エネルギー消費効率：5.09			<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 適	
		換気設備方式	・ダクト式第3種換気設備 比消費電力：0.30W/m <sup>3</sup> h					
		給湯設備	・給湯熱源機（ガス給湯器） ・太陽熱給湯設備の種類（ ）					
		照明設備	・主たる居室（白熱灯を採用しない） ・その他居室（白熱灯を採用しない） ・非居室（白熱灯を採用しない）			<input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表 <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 適	
		太陽光発電の使用について	<input type="checkbox"/> （ ）kW				<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適
		コージェネレーションの使用について	<input type="checkbox"/> （ ）				<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> 建具表 <input type="checkbox"/> 矩計図 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 適

(2) 記入例2 (共同住宅等用)

1) 建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書 (第五号様式)

様式第五 (第七条関係) (日本工業規格A列4番)

(第一面)

建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第36条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能基準に適合している旨の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(記入例)

様式第五（第七条関係）（日本工業規格A列4番）

(第一面)

建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

〇〇県〇〇市〇〇町  
〇-〇-〇  
印  
建築 太郎

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第36条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能基準に適合している旨の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(第二面)

1. 建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

[建築物に関する事項]

【1. 地名地番】	
【2. 敷地面積】	m <sup>2</sup>
【3. 建築面積】	m <sup>2</sup>
【4. 延べ面積】	m <sup>2</sup>
【5. 建築物の階数】	(地上) 階 (地下) 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体 戸
【8. 構造】	造 一部 造
【9. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 竣工年月日 年 月 日 竣工
【10. 建築物の構造及び設備の概要】	別添の申請に係る建築物のエネルギー消費性能が建築物エネルギー消費性能基準に適合するものであることを説明した図書による
【11. 該当する地域の区分】	地域
【12. 建築物全体のエネルギー消費性能】	1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項 <input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率 W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値 W/(m <sup>2</sup> ・K)) 冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 ) <input type="checkbox"/> 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準 <input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( ) <input type="checkbox"/> 基準対象外

## (第二面)

## 1. 建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3		
【2. 敷地面積】	1092.42	m <sup>2</sup>	
【3. 建築面積】	406.60	m <sup>2</sup>	
【4. 延べ面積】	3508.73	m <sup>2</sup>	
【5. 建築物の階数】	(地上)	10 階	(地下) 1 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input checked="" type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物		
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体 45 戸		
【8. 構造】	鉄筋コンクリート造 一部 造		
【9. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
	竣工年月日	年 月 日	竣工
【10. 建築物の構造及び設備の概要】	別添の申請に係る建築物のエネルギー消費性能が建築物エネルギー消費性能基準に適合するものであることを説明した図書による		
【11. 該当する地域の区分】	6 地域		
【12. 建築物全体のエネルギー消費性能】	1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項 <input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率 W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値 W/(m <sup>2</sup> ・K)) 冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 ) <input type="checkbox"/> 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準 <input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( ) <input type="checkbox"/> 基準対象外		





(第三面)

[住戸に関する事項]

【1. 住戸の番号】	
【2. 住戸の存する階】	階
【3. 専用部分の床面積】	m <sup>2</sup>
【4. 住戸のエネルギー消費性能】	
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項	
<input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率 W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値 W/(m <sup>2</sup> ・K))	
冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 )	
<input type="checkbox"/> 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準	
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	
( )	
<input type="checkbox"/> 基準対象外	
2. 一次エネルギー消費量に関する事項	
<input type="checkbox"/> 基準一次エネルギー消費量 GJ/年	
設計一次エネルギー消費量 GJ/年	
BEI ( )	
<input type="checkbox"/> 一次エネルギー消費量に関する仕様基準	
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	
( )	

## (第三面)

## 〔住戸に関する事項〕

【1. 住戸の番号】	201~1005		
【2. 住戸の存する階】	2~10	階	
【3. 専用部分の床面積】	2階〇〇 m <sup>2</sup> ・・・10階〇〇 m <sup>2</sup>		
【4. 住戸のエネルギー消費性能】			
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項			
<input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率	W/(m <sup>2</sup> ・K)	(基準値	W/(m <sup>2</sup> ・K))
冷房期の平均日射熱取得率		(基準値	)
<input checked="" type="checkbox"/> 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準			
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	( )		
<input type="checkbox"/> 基準対象外			
2. 一次エネルギー消費量に関する事項			
<input type="checkbox"/> 基準一次エネルギー消費量	GJ/年		
設計一次エネルギー消費量	GJ/年		
BEI ( )			
<input checked="" type="checkbox"/> 一次エネルギー消費量に関する仕様基準			
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	( )		



(別紙) 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準又は一次エネルギー消費量に関する仕様基準を用いる場合

## 1. 住戸に係る事項

### (1) 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置

#### 1) 屋根又は天井

【断熱材の施工法】内断熱工法      外断熱工法  
充填断熱工法      外張断熱工法      内張断熱工法

【断熱性能】断熱材の種別及び厚さ (種別 *押出法ポリスチレンフォーム保温板3種aA*) (厚さ *100* mm)  
熱貫流率 (      W/(m<sup>2</sup>・K) )      熱抵抗値 (      *3.5* (m<sup>2</sup>・K)/W)

#### 2) 壁

【断熱材の施工法】内断熱工法      外断熱工法  
充填断熱工法      外張断熱工法      内張断熱工法

【断熱性能】断熱材の種別及び厚さ (種別 *押出法ポリスチレンフォーム保温板3種aA*) (厚さ *100* mm)  
熱貫流率 (      W/(m<sup>2</sup>・K) )      熱抵抗値 (      *3.5* (m<sup>2</sup>・K)/W)

#### 3) 床

(イ) 外気に接する部分

【該当箇所の有無】有      無

【断熱材の施工法】内断熱工法      外断熱工法  
充填断熱工法      外張断熱工法      内張断熱工法

【断熱性能】断熱材の種別及び厚さ (種別 *押出法ポリスチレンフォーム保温板3種aA*) (厚さ *100* mm)  
熱貫流率 (      W/(m<sup>2</sup>・K) )      熱抵抗値 (      *3.5* (m<sup>2</sup>・K)/W)

(ロ) その他の部分

【該当箇所の有無】有      無

【断熱材の施工法】内断熱工法      外断熱工法  
充填断熱工法      外張断熱工法      内張断熱工法

【断熱性能】断熱材の種別及び厚さ (種別 *押出法ポリスチレンフォーム保温板3種aA*) (厚さ *100* mm)  
熱貫流率 (      W/(m<sup>2</sup>・K) )      熱抵抗値 (      *3.5* (m<sup>2</sup>・K)/W)

#### 4) 土間床等の外周部分の基礎

(イ) 外気に接する部分

【該当箇所の有無】有      無

【断熱性能】断熱材の種別及び厚さ (種別      ) (厚さ      mm)

熱貫流率 (      W/(m<sup>2</sup>・K) )      熱抵抗値 (      (m<sup>2</sup>・K)/W)

(ロ) その他の部分

【該当箇所の有無】有      無

【断熱性能】断熱材の種別及び厚さ (種別      ) (厚さ      mm)

熱貫流率 (      W/(m<sup>2</sup>・K) )      熱抵抗値 (      (m<sup>2</sup>・K)/W)

#### 5) 開口部

【開口部比率】 (      *0.07*      ) 【開口部比率区分】 (      *(は)*      )

【断熱性能】建具等の種類 (建具の材質・構造      *(一重) 金属製*      )

(ガラスの種別      *LOW-E 複層 A12 日射遮蔽型*      )

熱貫流率 (      W/(m<sup>2</sup>・K) )

【日射遮蔽性能】

ガラスの日射熱取得率 (日射熱取得率      )

付属部材 (南±25度(に)設置するもの      )

(上記以外の方位に設置するもの      )

ひさし、軒等

#### 6) 構造熱橋部

【該当箇所の有無】有      無

【断熱性能】断熱補強の範囲 (*450* mm)      断熱補強の熱抵抗値 (      *1.7* (m<sup>2</sup>・K)/W)

(2) 空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置

【暖房】暖房設備 ( )  
効率 ( )

【冷房】冷房設備 ( )  
効率 ( )

【換気】換気設備 ( )  
効率 ( )

【照明】省エネルギー措置の概要 ( )

【給湯】給湯設備 ( )  
効率 ( )

2. 備考

(2) 空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置

【暖房】暖房設備 ( *ルームエアコンディショナー* ) )  
効率 ( *定格暖房エネルギー消費効率: 5.21* ) )

【冷房】冷房設備 ( *ルームエアコンディショナー* ) )  
効率 ( *定格冷房エネルギー消費効率: 5.09* ) )

【換気】換気設備 ( *ダクト式第3種換気設備* ) )  
効率 ( *比消費電力: 0.30 W/(m<sup>3</sup>/h)* ) )

【照明】省エネルギー措置の概要 ( *非居室に白熱灯を採用しない* ) )

【給湯】給湯設備 ( *ガス給湯器* ) )  
効率 ( *エネルギー消費効率: 83.4%* ) )

2. 備考

(3) 記入例 3 (非住宅建築物用)

1) 建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書 (第五号様式)

様式第五 (第七条関係) (日本工業規格 A 列 4 番)

(第一面)

建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 36 条第 1 項の規定により、建築物エネルギー消費性能基準に適合している旨の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実  
に相違ありません。

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(記入例)

様式第五（第七条関係）（日本工業規格A列4番）

(第一面)

建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

〇〇県〇〇市〇〇町  
〇-〇-〇  
印  
建築 太郎

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第36条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能基準に適合している旨の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(第二面)

1. 建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項  
〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	
【2. 敷地面積】	m <sup>2</sup>
【3. 建築面積】	m <sup>2</sup>
【4. 延べ面積】	m <sup>2</sup>
【5. 建築物の階数】	(地上) 階 (地下) 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体 戸
【8. 構造】	造 一部 造
【9. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 竣工年月日 年 月 日 竣工
【10. 建築物の構造及び設備の概要】	別添の申請に係る建築物のエネルギー消費性能が建築物エネルギー消費性能基準に適合するものであることを説明した図書による
【11. 該当する地域の区分】	地域
【12. 建築物全体のエネルギー消費性能】	1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項 <input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率 W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値 W/(m <sup>2</sup> ・K)) 冷房期の平均日射熱取得率 (基準値 ) <input type="checkbox"/> 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準 <input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( ) <input type="checkbox"/> 基準対象外

## (第二面)

## 1. 建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3		
【2. 敷地面積】	1650.42	m <sup>2</sup>	
【3. 建築面積】	1206.60	m <sup>2</sup>	
【4. 延べ面積】	9508.73	m <sup>2</sup>	
【5. 建築物の階数】	(地上)	9 階	(地下) 1 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input checked="" type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物		
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体		戸
【8. 構造】	鉄筋コンクリート造	一部	造
【9. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
	竣工年月日	年 月 日	竣工
【10. 建築物の構造及び設備の概要】	別添の申請に係る建築物のエネルギー消費性能が建築物エネルギー消費性能基準に適合するものであることを説明した図書による		
【11. 該当する地域の区分】	6	地域	
【12. 建築物全体のエネルギー消費性能】	1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項 <input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率                      W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値                      W/(m <sup>2</sup> ・K)) 冷房期の平均日射熱取得率                      (基準値                      ) <input type="checkbox"/> 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準 <input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果 (                      ) <input type="checkbox"/> 基準対象外		



2. 一次エネルギー消費量に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

**モデル建物法の場合**

基準省令第1条第1項第1号イの基準  基準省令第1条第1項第1号ロの基準

基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 GJ/年

BEI ( 0.80 )

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分

基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 GJ/年

BEI ( )

一次エネルギー消費量に関する仕様基準

共用部分の基準一次エネルギー消費量 ( GJ/年)

共用部分の設計一次エネルギー消費量 ( GJ/年)

国土交通大臣が認める方法及びその結果 ( )

(3) 複合建築物

基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 GJ/年

BEI ( )

【13. 備考】

(4) 記入例 4 (複合建築物用)

1) 建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書 (第五号様式)

様式第五 (第七条関係) (日本工業規格 A 列 4 番)

(第一面)

建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

印

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第 36 条第 1 項の規定により、建築物エネルギー消費性能基準に適合している旨の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実  
に相違ありません。

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

様式第五 (第七条関係) (日本工業規格A列4番)

(第一面)

建築物のエネルギー消費性能に係る認定申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

〇〇県〇〇市〇〇町  
〇-〇-〇  
印  
建築 太郎

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第36条第1項の規定により、建築物エネルギー消費性能基準に適合している旨の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(第二面)

1. 建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項  
〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	
【2. 敷地面積】	m <sup>2</sup>
【3. 建築面積】	m <sup>2</sup>
【4. 延べ面積】	m <sup>2</sup>
【5. 建築物の階数】	(地上) 階 (地下) 階
【6. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物
【7. 建築物の住戸の数】	建築物全体 戸
【8. 構造】	造 一部 造
【9. 基準省令附則第3条又は第4条の適用の有無】	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 竣工年月日    年    月    日    竣工
【10. 建築物の構造及び設備の概要】	別添の申請に係る建築物のエネルギー消費性能が建築物エネルギー消費性能基準に適合するものであることを説明した図書による
【11. 該当する地域の区分】	地域
【12. 建築物全体のエネルギー消費性能】	1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項 <input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率    W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値    W/(m <sup>2</sup> ・K)) 冷房期の平均日射熱取得率    (基準値    ) <input type="checkbox"/> 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準 <input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果 (    ) <input type="checkbox"/> 基準対象外





2. 一次エネルギー消費量に関する事項

(1) 非住宅建築物又は複合建築物の非住宅部分

**モデル建物法の場合**

- 基準省令第1条第1項第1号イの基準  基準省令第1条第1項第1号ロの基準

基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 GJ/年

BEI ( 0.8 )

- 国土交通大臣が認める方法及びその結果

( )

(2) 住宅又は複合建築物の住宅部分

**住宅部分は共用部分も含む**

- 基準一次エネルギー消費量 5773.2 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 5111.4 GJ/年

BEI ( 0.89 )

- 一次エネルギー消費量に関する仕様基準

共用部分の基準一次エネルギー消費量 ( GJ/年)

共用部分の設計一次エネルギー消費量 ( GJ/年)

- 国土交通大臣が認める方法及びその結果

( )

(3) 複合建築物

基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 GJ/年

BEI ( )

【13. 備考】

(第三面)

[住戸に関する事項]

【1. 住戸の番号】		
【2. 住戸の存する階】	階	
【3. 専用部分の床面積】	m <sup>2</sup>	
【4. 住戸のエネルギー消費性能】		
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項		
<input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率	W/(m <sup>2</sup> ・K) (基準値	W/(m <sup>2</sup> ・K))
冷房期の平均日射熱取得率	(基準値	)
<input type="checkbox"/> 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準		
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果		
( )		
<input type="checkbox"/> 基準対象外		
2. 一次エネルギー消費量に関する事項		
<input type="checkbox"/> 基準一次エネルギー消費量	GJ/年	
設計一次エネルギー消費量	GJ/年	
BEI ( )		
<input type="checkbox"/> 一次エネルギー消費量に関する仕様基準		
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果		
( )		

## (第三面)

〔住戸に関する事項〕

**住戸毎に作成することが基本**

【1. 住戸の番号】	201~1005		
【2. 住戸の存する階】	2~10	階	
【3. 専用部分の床面積】	2階〇〇 m <sup>2</sup> ・・・10階〇〇 m <sup>2</sup>		
【4. 住戸のエネルギー消費性能】			
1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項			
<input checked="" type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率	0.76 W/(m <sup>2</sup> ・K)	(基準値	0.87 W/(m <sup>2</sup> ・K))
冷房期の平均日射熱取得率	2.4	(基準値	2.8)
<input type="checkbox"/> 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する仕様基準			
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	( )		
<input type="checkbox"/> 基準対象外			
2. 一次エネルギー消費量に関する事項			
<input checked="" type="checkbox"/> 基準一次エネルギー消費量	116.11GJ/年		
設計一次エネルギー消費量	102.3 GJ/年		
BEI (	0.89	)	
<input type="checkbox"/> 一次エネルギー消費量に関する仕様基準			
<input type="checkbox"/> 国土交通大臣が認める方法及びその結果	( )		

### 3.届出

(※現行省エネ法による書式)

(1) 記入例 1 (共同住宅用) (H28.4 告示改正後の記入例)

#### 1) 届出書 (第一号様式)

第一号様式 (第一条又は第二条関係) (A 4)

届出書

(第一面)

エネルギーの使用の合理化等に関する法律 (以下「法」という。) 第 75 条第 1 項前段又は法第 75 条の 2 第 1 項前段の規定による届出をします。この届出書に記載の事項は、事実  
に相違ありません。

所管行政庁 様

平成 年 月 日

届出者氏名 印

#### 【届出の別】

第一種特定建築物 (法第 75 条第 1 項前段の規定による届出)

第二種特定建築物 (法第 75 条の 2 第 1 項前段の規定による届出)

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
平成 年 月 日		
第 号		
係員印		

第一号様式（第一条又は第二条関係）（A4）

届出書

（第一面）

エネルギーの使用の合理化等に関する法律（以下「法」という。）第75条第1項前段又は法第75条の2第1項前段の規定による届出をします。この届出書に記載の事項は、事実と相違ありません。

所管行政庁 様

平成 28年 〇〇月 〇〇日

届出者氏名 株式会社 省エネ不動産  
代表取締役 〇〇 〇〇 印

【届出の別】

- 第一種特定建築物（法第75条第1項前段の規定による届出）  
 第二種特定建築物（法第75条の2第1項前段の規定による届出）

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
平成 年 月 日		
第 号		
係員印		

(第二面)

第一種特定建築主等又は第二種特定建築主の概要

【1. 第一種特定建築主等又は第二種特定建築主】

【イ. 氏名のフリガナ】

【ロ. 氏名】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【2. 代理人】

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【3. 設計者】

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【4. 建築物及びその敷地の概要】

【イ. 所在地】

【ロ. 名称】

【ハ. 用途】

【ニ. 構造】 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨造 木造  
その他 ( )

【ホ. 階数】 地上 階 地下 階  
( 届出部分 ) ( 届出以外の部分 ) ( 合計 )

【ヘ. 床面積の合計】 ( m<sup>2</sup> ) ( m<sup>2</sup> ) ( m<sup>2</sup> )

【5. 工事着手予定年月日】平成 年 月 日

【6. 工事完了予定年月日】平成 年 月 日

【7. 備考】

## (第二面)

## 第一種特定建築主等又は第二種特定建築主の概要

## 【1. 第一種特定建築主等又は第二種特定建築主】

- 【イ. 氏名のフリガナ】 *カブシキガイシャ ショウエネフドウサン* ○○ ○○  
 【ロ. 氏名】 *株式会社 省エネ不動産 代表取締役* ○○ ○○  
 【ハ. 郵便番号】 ○○○-○○○○  
 【ニ. 住所】 ○○県○○市○○町  
 【ホ. 電話番号】 ○○○-○○○-○○○○

## 【2. 代理人】

- 【イ. 氏名】 ○○ ○○  
 【ロ. 勤務先】 *株式会社 ○○設計事務所*  
 【ハ. 郵便番号】 ○○○-○○○○  
 【ニ. 所在地】 ○○県○○市○○町  
 【ホ. 電話番号】 ○○○-○○○-○○○○

## 【3. 設計者】

- 【イ. 氏名】  
 【ロ. 勤務先】  
 【ハ. 郵便番号】 *【2. 代理人】と同じ*  
 【ニ. 所在地】  
 【ホ. 電話番号】

## 【4. 建築物及びその敷地の概要】

- 【イ. 所在地】 ○○県○○市○○町  
 【ロ. 名称】 *(仮称) ○○マンション新築工事*  
 【ハ. 用途】 *共同住宅*  
 【ニ. 構造】 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨造 木造  
その他 ( )  
 【ホ. 階数】 地上 *5*階 地下 階  
 ( 届出部分 ) ( 届出以外の部分 ) ( 合計 )  
 【へ. 床面積の合計】 ( *3850.0* m<sup>2</sup> ) ( m<sup>2</sup> ) ( *3850.0* m<sup>2</sup> )

【5. 工事着手予定年月日】 平成 *28*年○○月○○日【6. 工事完了予定年月日】 平成 *29*年○○月○○日

【7. 備考】

(第三面)

省エネルギー措置の概要

- 【1. 工事種別】 新築 増築 改築  
直接外気に接する屋根、壁又は床の修繕又は模様替  
空気調和設備等の設置 空気調和設備等の改修

- 【2. 届出をする部分】 直接外気に接する屋根、壁又は床 空気調和設備  
空気調和設備以外の機械換気設備 照明設備  
給湯設備 昇降機

- 【3. 用途区分】 住宅 事務所等 ホテル等 病院等 物品販売業を営む店舗  
等 学校等 飲食店等 集会所等 工場等

- 【4. 該当する地域区分】 ( ) 地域)

【5. 建築物全体に係る事項】

- (1) 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置

- 1) 一戸建ての住宅

外皮平均熱貫流率及び冷房期の平均日射熱取得率

(外皮平均熱貫流率  $W/(m^2 \cdot K)$ )

(冷房期の平均日射熱取得率 )

特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果

( )

- 2) 住宅以外の用途に供する建築物

年間熱負荷係数 (  $MJ/(m^2 \cdot 年)$ ) (基準値  $MJ/(m^2 \cdot 年)$ )

特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果

( )

基準対象外

- (2) 空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置

- 1) 一次エネルギー消費量

基準一次エネルギー消費量 (  $GJ/年$ )

設計一次エネルギー消費量 (  $GJ/年$ )

特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果

( )

- 2) エネルギー利用効率化設備の有無

有 無

【6. 住戸に係る事項】

- (1) 住戸の番号 ( )

- (2) 住戸の存する階 ( ) 階)

- (3) 専用部分の床面積 (  $m^2$ )

- (4) 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置

外皮平均熱貫流率及び冷房期の平均日射熱取得率

(外皮平均熱貫流率  $W/(m^2 \cdot K)$ )

(冷房期の平均日射熱取得率 )

特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果

( )

## (第三面)

## 省エネルギー措置の概要

- 
- 【1. 工事種別】 新築 増築 改築  
直接外気に接する屋根、壁又は床の修繕又は模様替  
空気調和設備等の設置 空気調和設備等の改修
- 
- 【2. 届出をする部分】 直接外気に接する屋根、壁又は床 空気調和設備  
空気調和設備以外の機械換気設備 照明設備  
給湯設備 昇降機
- 
- 【3. 用途区分】 住宅 事務所等 ホテル等 病院等 物品販売業を営む店舗  
等 学校等 飲食店等 集会所等 工場等
- 
- 【4. 該当する地域区分】 ( 6 地域)
- 
- 【5. 建築物全体に係る事項】
- (1) 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置
- 1) 一戸建ての住宅
- 外皮平均熱貫流率及び冷房期の平均日射熱取得率  
(外皮平均熱貫流率  $W/(m^2 \cdot K)$   
(冷房期の平均日射熱取得率 )  
特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果  
( )
- 2) 住宅以外の用途に供する建築物
- 年間熱負荷係数 (  $MJ/(m^2 \cdot 年)$  ) (基準値  $MJ/(m^2 \cdot 年)$ )  
特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果  
( )  
基準対象外
- (2) 空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置
- 1) 一次エネルギー消費量
- 基準一次エネルギー消費量 (  $GJ/年$  )  
設計一次エネルギー消費量 (  $GJ/年$  )  
特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果  
( )
- 2) エネルギー利用効率化設備の有無
- 有 無
- 
- 【6. 住戸に係る事項】 *別紙による*
- (1) 住戸の番号 ( )
- (2) 住戸の存する階 ( 階)
- (3) 専用部分の床面積 (  $m^2$  )
- (4) 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置
- 外皮平均熱貫流率及び冷房期の平均日射熱取得率  
(外皮平均熱貫流率  $W/(m^2 \cdot K)$   
(冷房期の平均日射熱取得率 )  
特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果  
( )

(つづき)

(5) 空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置

1) 一次エネルギー消費量

基準一次エネルギー消費量 ( GJ/年)

設計一次エネルギー消費量 ( GJ/年)

特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果 ( )

2) エネルギー利用効率化設備の有無

有  無

---

【7. 備考】

(5) 空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置

1) 一次エネルギー消費量

基準一次エネルギー消費量 ( 4702.5 GJ/年)

設計一次エネルギー消費量 ( 4603.3 GJ/年)

特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果

(

)

2) エネルギー利用効率化設備の有無

有  無

【7. 備考】

H28基準による計算結果

告示改正が行われるが、従前の例によることのできるため、H25基準、H28基準のいずれの計算方法による計算結果であることを記載する。

(記載注意事項、以下記載例において省略。)

(注意)

1. 届出書類

第一面、第二面及び第三面を提出してください。

住宅の用途及び住宅以外の用途に供する建築物の届出において、住宅以外の用途に供する部分の床面積の合計が 300 m<sup>2</sup>未満の場合、住宅以外の用途に供する部分を、住宅の用途に供するものとして取り扱うこととします。ただし、住宅以外の用途に供する部分について、第三面の 5 欄の (1) の記入については、住宅以外の用途に供するものとして取り扱うことができることとし、5 欄の (2) の記入については、住宅以外の用途に供するものとして取り扱うこととします。

2. 各面共通関係

数字は算用数字を用いてください。

3. 第一面関係

- ① 届出者の氏名の記入を自署で行う場合は、押印を省略することができます。
- ② 届出の別は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ③ ※印のある欄は記入しないでください。

4. 第二面関係

- ① 第一種特定建築主等、第二種特定建築主、設計者又は工事施工者がそれぞれ 2 者以上の場合は、第二面は代表となる第一種特定建築主等、第二種特定建築主、設計者又は工事施工者について記入し、別紙に他の第一種特定建築主等、第二種特定建築主、設計者又は工事施工者について記入して添えてください。
- ② 1 欄は、第一種特定建築主等又は第二種特定建築主が法人の場合は、「イ」は法人の名称及び代表者の氏名のフリガナを、「ロ」は法人の名称及び代表者の氏名を、「ニ」は法人の所在地を、第一種特定建築主等又は第二種特定建築主がマンションの管理を行う建物の区分所有等に関する法律第 3 条又は第 65 条に規定する団体の場合は、「イ」は団体の名称及び代表者の氏名のフリガナを、「ロ」は団体の名称及び代表者の氏名を、「ニ」は団体の所在地を記入してください。
- ③ 2 欄は、第一種特定建築主等又は第二種特定建築主からの委任を受けて届出をする場合に記入してください。
- ④ 4 欄の「ハ」は、建築基準法施行規則（昭和 25 年建設省令第 40 号）別紙の表の用途の区分に従い記入してください。
- ⑤ 4 欄の「ニ」は、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。なお、その他の構造を含む場合は、「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて具体的な構造を記入してください。
- ⑥ ここに書き表せない事項で特に記入すべき事項は、7 欄に記入し、又は別紙に記入して添えてください。

5. 第三面関係

- ① 1 欄及び 2 欄は、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ② 3 欄は、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。建築物の用途区分は、次のとおりとします。
  - (1) 「住宅」とは、一戸建て住宅、連続住宅、重ね建住宅、共同住宅その他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類するものをいいます。

- (2) 「事務所等」とは、事務所、官公署その他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類するものをいいます。
- (3) 「ホテル等」とは、ホテル、旅館その他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類するものをいいます。
- (4) 「病院等」とは、病院、老人ホーム、身体障害者福祉ホームその他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類するものをいいます。
- (5) 「物品販売業を営む店舗等」とは、百貨店、マーケットその他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類するものをいいます。
- (6) 「学校等」とは、小学校、中学校、高等学校、大学、高等専門学校、専修学校、各種学校その他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類するものをいいます。
- (7) 「飲食店等」とは、飲食店、食堂、喫茶店、キャバレーその他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類するものをいいます。
- (8) 「集会所等」とは、公会堂、集会場、図書館、博物館、ボーリング場、体育館、劇場、映画館、ぱちんこ屋その他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類するものをいいます。
- (9) 「工場等」とは、工場、畜舎、自動車車庫、自転車駐車場、倉庫、観覧場、卸売市場、火葬場その他エネルギーの使用の状況に関してこれらに類するものをいいます。
- ③ 4 欄は、省エネルギー基準（エネルギーの使用の合理化等に関する法律（昭和54年法律第49号）第73条第1項に基づき、国土交通大臣が定める判断の基準となるべき事項をいいます。以下同じ。）において定めるところにより、該当する地域区分を記入してください。
- ④ 5 欄の(1)は、「一戸建ての住宅」の場合、「外皮平均熱貫流率及び冷房期の平均日射熱取得率」又は「特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果」の該当するチェックボックスに、「レ」マークを入れた上で記入してください。「外皮平均熱貫流率」とは、建築物の内外の温度差1度当たりの総熱損失量（換気による熱損失を除く。）を外皮等（外気等（住宅の外気又は外気に通じる床裏、小屋裏、天井裏等をいう。）に接する天井（小屋裏又は天井裏が外気に通じていない場合には、屋根）、壁、床及び開口部、共同住宅における隣接する住戸又は共用部に接する部分等をいう。以下同じ。）面積で除した値、また、「冷房期の平均日射熱取得率」とは、冷房期において建築物に入射する日射量に対する室内に侵入する日射量の割合を外皮等面積で平均した値として省エネルギー基準において定めるものをいいます。
- 「住宅以外の用途に供する建築物」の場合、「年間熱負荷係数」又は「特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果」の該当するチェックボックスに、「レ」マークを入れた上で記入してください。「年間熱負荷係数」とは、屋内周囲空間の年間熱負荷を各階の屋内周囲空間の床面積の合計で除して得た数値として省エネルギー基準において定めるものをいい、省エネルギー基準において定める「基準値」と併せて記入してください。「基準値」とは、年間熱負荷係数について基準とすべき値として省エネルギー基準において定めるものをい

います。工場等の用途に供する建築物の場合は、「基準対象外」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、省エネルギー基準の適用に当たって使用した計算表は、別紙に記入して添えてください。

- ⑤ 5 欄の(2)は、「一次エネルギー消費量」については「基準一次エネルギー消費量」及び「設計一次エネルギー消費量」又は「特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果」の該当するチェックボックスに、「レ」マークを入れた上で記入してください。「エネルギー利用効率化設備の有無」については、届出時にエネルギー利用効率化設備による一次エネルギー消費量の削減量を設計一次エネルギー

消費量の計算において算入している場合には「有」に、算入していない場合には「無」に「レ」マークを入れてください。また、次に掲げる用語の意義は、それぞれ次に定めるところにより、これらについては、小数点第二位以下は切り上げた値を記載してください。なお、省エネルギー基準の適用に当たって使用した計算表は、別紙に記入して添えてください。

(1) 基準一次エネルギー消費量 建築物の床面積、設備等の条件により定まる、基準となる一次エネルギー消費量(1年間に消費するエネルギーの量を熱量に換算したものをいう。以下同じ。)として、省エネルギー基準において定めるものをいう。

(2) 設計一次エネルギー消費量 建築物における実際の設計仕様の条件を基に算定した一次エネルギー消費量として、省エネルギー基準において定めるものをいう。

- ⑥ 6 欄は、共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅又は住宅の用途及び住宅以外の用途に供する建築物の住戸の部分に係る措置について、住戸ごとに記入して下さい。なお、届出に係る住戸の数が二以上である場合は、当該各住戸に関して記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

この欄に用いる用語の定義は、注意 5 の④及び⑤のとおりとします。

(4) については、「外皮平均熱貫流率及び冷房期の平均日射熱取得率」又は「特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果」の該当するチェックボックスに、「レ」マークを入れた上で記入してください。

(5) については、「基準一次エネルギー消費量」及び「設計一次エネルギー消費量」又は「特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果」の該当するチェックボックスに、「レ」マークを入れた上で記入してください。「エネルギー利用効率化設備の有無」については、届出時にエネルギー利用効率化設備による一次エネルギー消費量の削減量を設計一次エネルギー消費量の計算において算入している場合には「有」に、算入していない場合には「無」に「レ」マークを入れてください。

- ⑦ 1 欄から 6 欄までに書き表せない事項で特に記入すべき事項は、7 欄に記入し、又は別紙に記入して添えてください。





第3面(別紙) 住戸に係る事項								
No	1. 住戸 の番号	2. 住戸 の存す る階	3. 専用部分 の床面積	4. 外壁、窓等を度押しでの 熱損失の防止のための措 置		5. 空気調和設備等に係るエネルギーの 効率的利用の為の措置		
				外皮平均熱 貫流率 【W/m <sup>2</sup> K】	冷房期の平 均日射熱取 得率	基準一次 エネルギー 消費量 【GJ/年】	設計一次 エネルギー 消費量 【GJ/年】	エネルギ ー利用効 率化設備 の有無
				基準値				
				0.87	2.8			
1	101	1	78.52	0.85	2.7	85.1	78.5	無
2	102	1	70.21	0.76	2.6	84.2	78.1	無
3	103	1	70.21	0.76	2.6	84.2	78.1	無
4	104	1	70.21	0.76	2.6	84.2	78.1	無
5	105	1	78.52	0.85	2.7	85.1	78.5	無
6	201	2	78.52	0.85	2.7	85.1	78.5	無
7	202	2	70.21	0.76	2.6	84.2	78.1	無
8	203	2	70.21	0.76	2.6	84.2	78.1	無
9	204	2	70.21	0.76	2.6	84.2	78.1	無
10	205	2	78.52	0.85	2.7	85.1	78.5	無
.	.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.	.

## 2) 届出書 (附則様式)

附則様式 (附則第二条関係) (A 4)

届出書

(第一面)

エネルギーの使用の合理化に関する法律 (以下「法」という。) 第 75 条第 1 項前段又は法第 75 条の 2 第 1 項前段の規定による届出をします。この届出書に記載の事項は、事実と相違ありません。

所管行政庁 様

平成 年 月 日

届出者氏名 印

### 【届出の別】

- 第一種特定建築物 (法第 75 条第 1 項前段の規定による届出)
- 第二種特定建築物 (法第 75 条の 2 第 1 項前段の規定による届出)

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
平成 年 月 日		
第 号		
係員印		

附則様式（附則第二条関係）（A4）

届出書

（第一面）

エネルギーの使用の合理化に関する法律（以下「法」という。）第75条第1項前段又は法第75条の2第1項前段の規定による届出をします。この届出書に記載の事項は、事実と相違ありません。

所管行政庁 様

平成 28年 〇〇月 〇〇日

株式会社 省エネ不動産

届出者氏名 代表取締役 〇〇 〇〇 印

【届出の別】

第一種特定建築物（法第75条第1項前段の規定による届出）

第二種特定建築物（法第75条の2第1項前段の規定による届出）

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
平成 年 月 日		
第 号		
係員印		

(第二面)

第一種特定建築主等又は第二種特定建築主の概要

【1. 第一種特定建築主等又は第二種特定建築主】

【イ. 氏名のフリガナ】

【ロ. 氏名】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【2. 代理者】

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【3. 設計者】

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【4. 建築物及びその敷地の概要】

【イ. 所在地】

【ロ. 名称】

【ハ. 用途】

【ニ. 構造】 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨造 木造

その他 ( )

【ホ. 階数】 地上 階 地下 階  
( 届出部分 ) (届出以外の部分) ( 合計 )

【へ. 床面積の合計】 ( m<sup>2</sup>) ( m<sup>2</sup>) ( m<sup>2</sup>)

【5. 工事着手予定年月日】平成 年 月 日

【6. 工事完了予定年月日】平成 年 月 日

【7. 備考】

## (第二面)

## 第一種特定建築主等又は第二種特定建築主の概要

## 【1. 第一種特定建築主等又は第二種特定建築主】

- 【イ. 氏名のフリガナ】 *カブシキガイシャ ショウエネフドウサン* ○○ ○○  
 【ロ. 氏名】 *株式会社 省エネ不動産 代表取締役* ○○ ○○  
 【ハ. 郵便番号】 *○○-○○○○*  
 【ニ. 住所】 *○○県○○市○○町*  
 【ホ. 電話番号】 *○○○-○○○-○○○○*

## 【2. 代理者】

- 【イ. 氏名】 ○○ ○○  
 【ロ. 勤務先】 *株式会社 ○○設計事務所*  
 【ハ. 郵便番号】 *○○○-○○○○*  
 【ニ. 所在地】 *○○県○○市○○町*  
 【ホ. 電話番号】 *○○○-○○○-○○○○*

## 【3. 設計者】

- 【イ. 氏名】  
 【ロ. 勤務先】  
 【ハ. 郵便番号】 *【2. 代理者】と同じ*  
 【ニ. 所在地】  
 【ホ. 電話番号】

## 【4. 建築物及びその敷地の概要】

- 【イ. 所在地】 *○○県○○市○○町*  
 【ロ. 名称】 *(仮称) ○○マンション新築工事*  
 【ハ. 用途】 *共同住宅*  
 【ニ. 構造】 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨造 木造  
その他 ( )  
 【ホ. 階数】 地上 *5*階 地下 階  
 ( 届出部分 ) ( 届出以外の部分 ) ( 合計 )  
 【ヘ. 床面積の合計】 ( *3850.0* m<sup>2</sup> ) ( m<sup>2</sup> ) ( *3850.0* m<sup>2</sup> )

【5. 工事着手予定年月日】 平成 *28* 年年○○月○○日

【6. 工事完了予定年月日】 平成 *29* 年年○○月○○日

【7. 備考】

(第三面)

省エネルギー措置の概要

- 【1. 工事種別】 新築 増築 改築  
直接外気に接する屋根、壁又は床の修繕又は模様替  
空気調和設備等の設置 空気調和設備等の改修

- 【2. 届出をする部分】 直接外気に接する屋根、壁又は床 空気調和設備  
空気調和設備以外の機械換気設備 照明設備  
給湯設備

- 【3. 該当する地域区分】 ( ) 地域

【4. 住戸に係る事項】

- (1) 住戸の番号 ( )  
(2) 住戸の存する階 ( ) 階  
(3) 専用部分の床面積 ( )  $m^2$   
(4) 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置

1) 屋根又は天井

- 【断熱材の施工法】 内断熱工法 外断熱工法  
充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法

- 【断熱性能】 断熱材の種別及び厚さ  
(種別 ) (厚さ mm)  
熱貫流率 (  $W/(m^2 \cdot K)$  ) 熱抵抗値 (  $(m^2 \cdot K)/W$  )

2) 壁

- 【断熱材の施工法】 内断熱工法 外断熱工法  
充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法

- 【断熱性能】 断熱材の種別及び厚さ  
(種別 ) (厚さ mm)  
熱貫流率 (  $W/(m^2 \cdot K)$  ) 熱抵抗値 (  $(m^2 \cdot K)/W$  )

3) 床

(イ) 外気に接する部分

- 【該当箇所の有無】 有 無  
【断熱材の施工法】 内断熱工法 外断熱工法  
充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法

- 【断熱性能】 断熱材の種別及び厚さ  
(種別 ) (厚さ mm)  
熱貫流率 (  $W/(m^2 \cdot K)$  ) 熱抵抗値 (  $(m^2 \cdot K)/W$  )

(ロ) その他の部分

- 【該当箇所の有無】 有 無  
【断熱材の施工法】 内断熱工法 外断熱工法  
充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法

- 【断熱性能】 断熱材の種別及び厚さ  
(種別 ) (厚さ mm)  
熱貫流率 (  $W/(m^2 \cdot K)$  ) 熱抵抗値 (  $(m^2 \cdot K)/W$  )

4) 土間床等の外周 ※H28 基準の場合は、土間床等の外周部分の基礎を記入する

(イ) 外気に接する部分

- 【該当箇所の有無】 有 無  
【断熱性能】 断熱材の種別及び厚さ (種別 ) (厚さ mm)  
熱貫流率 (  $W/(m^2 \cdot K)$  ) 熱抵抗値 (  $(m^2 \cdot K)/W$  )

(ロ) その他の部分

- 【該当箇所の有無】 有 無  
【断熱性能】 断熱材の種別及び厚さ (種別 ) (厚さ mm)  
熱貫流率 (  $W/(m^2 \cdot K)$  ) 熱抵抗値 (  $(m^2 \cdot K)/W$  )

## (第三面)

## 省エネルギー措置の概要

【1. 工事種別】新築 増築 改築直接外気に接する屋根、壁又は床の修繕又は模様替空気調和設備等の設置 空気調和設備等の改修【2. 届出をする部分】直接外気に接する屋根、壁又は床 空気調和設備空気調和設備以外の機械換気設備 照明設備給湯設備

【3. 該当する地域区分】 ( 6 地域)

【4. 住戸に係る事項】 ※別紙による

(1) 住戸の番号 ( )

(2) 住戸の存する階 ( ) 階

(3) 専用部分の床面積 ( ) m<sup>2</sup>

(4) 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置

1) 屋根又は天井

【断熱材の施工法】内断熱工法 外断熱工法充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法【断熱性能】断熱材の種別及び厚さ

(種別 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種aA) (厚さ 100 mm)

熱貫流率 ( W/(m<sup>2</sup>・K) ) 熱抵抗値 ( 3.5 (m<sup>2</sup>・K)/W)

2) 壁

【断熱材の施工法】内断熱工法 外断熱工法充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法【断熱性能】断熱材の種別及び厚さ

(種別 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種aA) (厚さ 100 mm)

熱貫流率 ( W/(m<sup>2</sup>・K) ) 熱抵抗値 ( 3.5 (m<sup>2</sup>・K)/W)

3) 床

(イ) 外気に接する部分

【該当箇所の有無】有 無【断熱材の施工法】内断熱工法 外断熱工法充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法【断熱性能】断熱材の種別及び厚さ

(種別 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種aA) (厚さ 100 mm)

熱貫流率 ( W/(m<sup>2</sup>・K) ) 熱抵抗値 ( 3.5 (m<sup>2</sup>・K)/W)

(ロ) その他の部分

【該当箇所の有無】有 無【断熱材の施工法】内断熱工法 外断熱工法充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法【断熱性能】断熱材の種別及び厚さ

(種別 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種aA) (厚さ 100 mm)

熱貫流率 ( W/(m<sup>2</sup>・K) ) 熱抵抗値 ( 3.5 (m<sup>2</sup>・K)/W)

4) 土間床等の外周 ※H28 基準の場合は、土間床等の外周部分の基礎を記入する

(イ) 外気に接する部分

【該当箇所の有無】有 無【断熱性能】断熱材の種別及び厚さ (種別 ) (厚さ mm)熱貫流率 ( W/(m<sup>2</sup>・K) ) 熱抵抗値 ( (m<sup>2</sup>・K)/W)

(ロ) その他の部分

【該当箇所の有無】有 無【断熱性能】断熱材の種別及び厚さ (種別 ) (厚さ mm)熱貫流率 ( W/(m<sup>2</sup>・K) ) 熱抵抗値 ( (m<sup>2</sup>・K)/W)

5) 開口部

【開口部比率】 ( )

【断熱性能】□建具等の種類 (建具の材質・構造) ( )

(ガラスの種別) ( )

□熱貫流率 ( W/(m<sup>2</sup>・K))

【日射遮蔽性能】

□ガラスの日射熱取得率 (日射熱取得率) ( )

□開口部付属部材 (南±25度に設置するもの) ( )

(上記以外の方位に設置するもの) ( )

□ひさし、軒等

(5) 空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置

1) 住戸の形状に係る措置

外皮等面積の合計を床面積の合計で除した数値 ( )  
基準値 ( )

2) 住戸の設備に係る措置

【暖房】暖房設備 ( )

効率 ( )

【冷房】冷房設備 ( )

効率 ( )

【換気】換気設備 ( )

効率 ( )

【照明】省エネルギー措置の概要 ( )

【給湯】給湯設備 ( )

効率 ( )

---

【5. 共同住宅等における共用部に係る措置】

基準一次エネルギー消費量 ( GJ/年)

設計一次エネルギー消費量 ( GJ/年)

---

【6. 備考】

## 5) 開口部

【開口部比率】 (0.07 区分(は) )

【断熱性能】  建具等の種類 (建具の材質・構造 (一重) 金属製 )  
(ガラスの種別 LOW-E 複層 A12 日射遮蔽型 ) 熱貫流率 ( W/(m<sup>2</sup>・K) )

【日射遮蔽性能】

 ガラスの日射熱取得率 (日射熱取得率 ) 開口部付属部材 (南±25 度に設置するもの )  
(上記以外の方角に設置するもの ) ひさし、軒等

## (5) 空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置

## 1) 住戸の形状に係る措置

外皮等面積の合計を床面積の合計で除した数値 ( )  
基準値 ( )

## 2) 住戸の設備に係る措置

【暖房】 暖房設備 ( ルームエアコンディショナー )  
効率 ( 定格暖房エネルギー消費効率 : 5.21 )【冷房】 冷房設備 ( ルームエアコンディショナー )  
効率 ( 定格冷房エネルギー消費効率 : 5.09 )【換気】 換気設備 ( ダクト式第3種換気設備 )  
効率 ( 比消費電力 : 0.30 W/(m<sup>3</sup>/h) )

【照明】 省エネルギー措置の概要 ( 非居室に白熱灯を採用しない )

【給湯】 給湯設備 ( ガス給湯器 )  
効率 ( エネルギー消費効率 : 83.4% )

## 【5. 共同住宅等における共用部に係る措置】

基準一次エネルギー消費量 ( 316.11 GJ/年)

設計一次エネルギー消費量 ( 303.3 GJ/年)

## 【6. 備考】

**H28基準を使用**

【4.】 (4) (5) 該当部分については全住戸共通

(記載注意事項、以下記載例において省略。)

(注意)

(1) 届出書類

第一面、第二面及び第三面を提出してください。

(2) 各面共通関係

数字は算用数字を用いてください。

(3) 第一面関係

- ① 届出者の氏名の記入を自署で行う場合は、押印を省略することができます。
- ② 届出の別は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ③ ※印のある欄は記入しないでください。

(4) 第二面関係

- ① 第一種特定建築主等、第二種特定建築主、設計者又は工事施工者がそれぞれ2者以上の場合は、第二面は代表となる第一種特定建築主等、第二種特定建築主、設計者又は工事施工者について記入し、別紙に他の第一種特定建築主等、第二種特定建築主、設計者又は工事施工者について記入して添えてください。
- ② 1欄は、第一種特定建築主等又は第二種特定建築主が法人の場合は、「イ」は法人の名称及び代表者の氏名のフリガナを、「ロ」は法人の名称及び代表者の氏名を、「ニ」は法人の所在地を、第一種特定建築主等又は第二種特定建築主がマンションの管理を行う建物の区分所有等に関する法律第3条又は第65条に規定する団体の場合は、「イ」は団体の名称及び代表者の氏名のフリガナを、「ロ」は団体の名称及び代表者の氏名を、「ニ」は団体の所在地を記入してください。
- ③ 2欄は、第一種特定建築主等又は第二種特定建築主からの委任を受けて届出をする場合に記入してください。
- ④ 4欄の「ハ」は、建築基準法施行規則（昭和25年建設省令第40号）別紙の表の用途の区分に従い記入してください。
- ⑤ 4欄の「ニ」は、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。なお、その他の構造を含む場合は、「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて具体的な構造を記入してください。
- ⑥ 1欄から5欄までに書き表せない事項で特に記入すべき事項は、6欄に記入し、又は別紙に記入して添えてください。

(5) 第三面

- ① 1欄及び2欄は、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ② 3欄は、省エネルギー基準（エネルギーの使用の合理化に関する法律（昭和54年法律第49号）第73条第1項に基づき、国土交通大臣が定める判断の基準となるべき事項をいいます。）において定めるところにより、該当する地域区分を記入してください。
- ③ 4欄及び5欄は、共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅又は住宅の用途及び住宅以外の用途に供する建築物の住戸の部分に係る措置について、住戸ごとに記入してください。なお、届出に係る住戸の数が二以上である場合は、当該各住戸に関して記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

- ④ 4 欄の（１）から（３）の欄は、対象住戸が共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅又は住宅の用途及び住宅以外の用途に供する建築物の住戸の場合に記入してください。
- ⑤ 4 欄の（４）の１）から３）までにおける「断熱材の施工法」は、部位ごとに断熱材の施工法を複数用いている場合は、主たる施工法のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。なお、主たる施工法以外の施工法について、主たる施工法に準じて、附則様式のうち当該部位に係る事項を記入したものを添えることを妨げるものではありません。
- ⑥ 4 欄の（４）の１）から４）までにおける「断熱性能」は、「断熱材の種別及び厚さ」、「熱貫流率」又は「熱抵抗値」のうち、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて必要な事項を記入してください。「断熱材の種別及び厚さ」については、当該部位に使用している断熱材の材料名及び厚さを記入してください。
- ⑦ 4 欄の（４）の３）及び４）における（イ）及び（ロ）の「該当箇所の有無」は、該当箇所がある場合には、「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑧ 4 欄の（４）の５）の「開口部比率」とは、開口部の面積の合計を外皮等面積の合計で除した値をいいます。
- ⑨ 4 欄の（４）の５）は、開口部のうち主たるものを対象として、必要な事項を記入してください。
- ⑩ 4 欄の（４）の５）の「断熱性能」は、「建具等の種類」又は「熱貫流率」の該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、必要な事項を記入してください。
- ⑪ 4 欄の（４）の５）の「日射遮蔽性能」は、「ガラスの日射熱取得率」、「開口部付属部材」又は「ひさし、軒等」について該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、必要な事項を記入してください。
- ⑫ 4 欄の（５）の２）の「暖房」、「冷房」、「換気」、「給湯」については、住戸に設置する設備機器とその効率を記載してください。設備機器が複数ある場合は最も効率の低い設備機器とその効率を記載してください。「効率」の欄には、「暖房」では熱源機の熱効率又は暖房能力を消費電力で除した値を、「冷房」では冷房能力を消費電力で除した値を、「換気」では換気回数及び比消費電力（全般換気設備の消費電力を設計風量で除した値として省エネルギー基準において定めるものをいう。以下同じ。）（熱交換換気設備を採用する場合にあっては、比消費電力を有効換気量率で除した値）を、「給湯」では熱源機の熱効率をそれぞれ記載してください。
- ⑬ 5 欄の「基準一次エネルギー消費量」及び「設計一次エネルギー消費量」は、共同住宅等の共用部における「空気調和設備」、「機械換気設備」、「照明設備」、「給湯設備」及び「昇降機」におけるそれぞれの値の合計値を記入してください。
- ⑭ 1 欄から 5 欄までに書き表せない事項で特に記入すべき事項は、6 欄に記入し、又は別紙に記入して添えてください。



(記入例)

第3面(別紙) 住戸に係る事項								
No	1. 住戸 の番号	2. 住戸 の存す る階	3. 専用部分 の床面積	4. 外壁、窓等を度押しでの 熱損失の防止のための措 置		5. 空気調和設備等に係るエネルギーの 効率的利用の為の措置		
				外皮平均熱 貫流率 【W/m <sup>2</sup> K】	冷房期の平 均日射熱取 得率	基準一次 エネルギー 消費量 【GJ/年】	設計一次 エネルギー 消費量 【GJ/年】	エネルギ ー利用効 率化設備 の有無
1	101	1	78.52					
2	102	1	70.21					
3	103	1	70.21					
4	104	1	70.21					
5	105	1	78.52					
6	201	2	78.52					
7	202	2	70.21					
8	203	2	70.21					
9	204	2	70.21					
10	205	2	78.52					
.	.	.	.					
.	.	.	.					
.	.	.	.					
.	.	.	.					

#### 4.低炭素建築物認定

(※現行低炭素法による書式)

(1) 記入例 1 (非住宅用) (H28.4 告示改正後の記入例)

##### 1) 低炭素建築物新築等計画認定申請書 (様式第五)

様式第五 (第四十一条関係) (日本工業規格 A 列 4 番)

(第一面)

### 低炭素建築物新築等計画認定申請書

年 月 日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称  
代表者の氏名

印

都市の低炭素化の促進に関する法律第 5 3 条第 1 項の規定により、低炭素建築物新築等計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

#### 【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体
- 住戸の部分のみ
- 建築物全体及び住戸の部分

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

様式第五（第四十一条関係）（日本工業規格A列4番）

(第一面)

低炭素建築物新築等計画認定申請書

平成 28年〇〇月〇〇日

所管行政庁 殿

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地 〇〇県〇〇市〇〇町 〇-〇  
申請者の氏名又は名称 建築 太郎 印  
代表者の氏名

都市の低炭素化の促進に関する法律第53条第1項の規定により、低炭素建築物新築等計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

【申請の対象とする範囲】

- 建築物全体
- 住戸の部分のみ
- 建築物全体及び住戸の部分

(本欄には記入しないでください。)

受付欄	認定番号欄	決 裁 欄
年 月 日	年 月 日	
第 号	第 号	
係員印	係員印	

(記載注意事項、以下記載例において省略。)

(注意)

1. この様式において、次に掲げる用語の意義は、それぞれ次のとおりとします。

- ①一戸建ての住宅 一棟の建築物からなる一戸の住宅で、住宅以外の用途に供する部分を有しないもの
- ②共同住宅等 共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅
- ③非住宅建築物 住宅以外の用途のみに供する建築物
- ④複合建築物 住宅の用途及び住宅以外の用途に供する建築物

2. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。

3. 申請者の氏名(法人にあっては、その代表者の氏名)の記載を自署で行う場合には、押印を省略することができます。

クを入れてください。

4. 【申請の対象とする範囲】の欄は、一戸建ての住宅、非住宅建築物又は共同住宅等若しくは複合建築物の全体に係る申請の場合には「建築物全体」に、共同住宅等又は複合建築物の住戸の部分のみに係る申請の場合には「住戸の部分のみ」に、共同住宅等又は複合建築物の全体及び住戸の部分の両方に係る申請の場合には「建築物全体及び住戸の部分」に、「✓」マークを入れてください。



(第二面)

低炭素建築物新築等計画

1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	
【2. 市街化区域等】	<input type="checkbox"/> 市街化区域 <input type="checkbox"/> 区域区分が定められていない都市計画区域のうち用途地域が定められている土地の区域
【3. 敷地面積】	m <sup>2</sup>
【4. 建築面積】	m <sup>2</sup>
【5. 延べ面積】	m <sup>2</sup>
【6. 建築物の階数】	(地上) 階 (地下) 階
【7. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物
【8. 建築物の住戸の数】	建築物全体 戸 認定申請対象住戸 戸
【9. 工事種別】	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修
【10. 構造】	造 一部 造
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による
【12. 該当する地域区分】	地域

(第二面)

## 低炭素建築物新築等計画

1. 新築等をしようとする建築物の位置、延べ面積、構造、設備及び用途並びに敷地面積に関する事項

〔建築物に関する事項〕

【1. 地名地番】	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3		
【2. 市街化区域等】	<input checked="" type="checkbox"/> 市街化区域 <input type="checkbox"/> 区域区分が定められていない都市計画区域のうち用途地域が定められている土地の区域		
【3. 敷地面積】	1650.42	m <sup>2</sup>	
【4. 建築面積】	1206.60	m <sup>2</sup>	
【5. 延べ面積】	9508.73	m <sup>2</sup>	
【6. 建築物の階数】	(地上)	9	階 (地下) 1 階
【7. 建築物の用途】	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等 <input checked="" type="checkbox"/> 非住宅建築物 <input type="checkbox"/> 複合建築物		
【8. 建築物の住戸の数】	建築物全体		戸
	認定申請対象住戸		戸
【9. 工事種別】	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 修繕又は模様替 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の設置 <input type="checkbox"/> 空気調和設備等の改修		
【10. 構造】	鉄筋コンクリート	造	一部 造
【11. 建築物の構造及び設備の概要】	別添設計内容説明書による		
【12. 該当する地域区分】	6	地域	

**【13. 建築物全体のエネルギーの使用の効率性】**

1. 一次エネルギー消費量に関する基準

基準一次エネルギー消費量 GJ/年

設計一次エネルギー消費量 GJ/年

特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果

( )

2. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準

(1) 一戸建ての住宅、共同住宅等又は複合建築物（住宅の用途に供する部分）

外皮平均熱貫流率 W/(m<sup>2</sup>・K)

冷房期の平均日射熱取得率

特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果

( )

(2) 非住宅建築物又は複合建築物（住宅以外の用途に供する部分）

年間熱負荷係数 MJ/(m<sup>2</sup>・年) (基準値 MJ/(m<sup>2</sup>・年))

特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果

( )

**【14. 確認の特例】**

法第54条第2項の規定による申出の有無  有  無

**【15. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】**

**【16. 備考】**



(記載注意事項、以下記載例において省略。)

(注意)

1. 【2. 市街化区域等】の欄は、新築等をしようとする建築物の敷地が存する区域が該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
2. 【7. 建築物の用途】及び【9. 工事種別】の欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
3. 【8. 建築物の住戸の数】の欄は、【7. 建築物の用途】で「共同住宅等」又は「複合建築物」を選んだ場合のみ記載してください。
4. 【12. 該当する地域区分】の欄は、建築物の低炭素化誘導基準（都市の低炭素化の促進に関する法律（平成24年法律第84号）第54条第1項第1号に規定する経済産業大臣、国土交通大臣及び環境大臣が定める基準をいいます。以下同じ。）において定めるところにより、該当する地域区分を記載してください。
5. 【13. 建築物全体のエネルギーの使用の効率性】の欄は、第一面の【申請の対象とする範囲】の欄で「建築物全体」又は「建築物全体及び住戸の部分」を選んだ場合のみ記載してください。

「1. 一次エネルギー消費量に関する基準」は「基準一次エネルギー消費量」及び「設計一次エネルギー消費量」又は「特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れた上で、小数点第二位以下は切り上げた値を記載してください。

「2. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準」の「(1) 一戸建ての住宅、共同住宅等又は複合建築物（住宅の用途に供する部分）」については、「外皮平均熱貫流率」及び「冷房期の平均日射熱取得率」又は「特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れた上で記載してください。「(2) 非住宅建築物又は複合建築物（住宅以外の用途に供する部分）」については、「年間熱負荷係数」又は「特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れてください。「年間熱負荷係数」については、建築物の低炭素化誘導基準において定める「基準値」と併せて記載してください。「基準値」とは、年間熱負荷係数について基準とすべき値として建築物の低炭素化誘導基準において定めるものとします。

この欄における次に掲げる用語の意義は、それぞれ次に定めるところによります。

- ① 基準一次エネルギー消費量 建築物の床面積、設備等の条件により定まる、基準となる一次エネルギー消費量（1年間に消費するエネルギーの量を熱量に換算したものをいう。以下同じ。）として、建築物の低炭素化誘導基準において定めるものをいいます。
- ② 設計一次エネルギー消費量 建築物における実際の設計仕様の条件を基に算定した一次エネルギー消費量として、建築物の低炭素化誘導基準において定めるものをいいます。
- ③ 外皮平均熱貫流率 建築物の内外の温度差1度当たりの総熱損失量（換気による熱損失を除く。）を外皮等（外気等（住宅の外気又は外気に通じる床裏、小屋裏、天井裏等をいう。）に接する天井（小屋裏又は天井裏が外気に通じていない場合には、屋根）、壁、床及び開口部、共同住宅における隣接する住戸又は共用部に接する部分等をいう。以下同じ。）面積の合計で除した値として、建築物の低炭素化誘導基準において定めるものをいいます。
- ④ 冷房期の平均日射熱取得率 冷房期において、建築物に入射する日射量に対する室内に侵入する日射量の割合を外皮等面積で平均した値として、建築物の低炭素化誘導基準において定めるものをいいます。

- ⑤ 年間熱負荷係数 屋内周囲空間の年間熱負荷を各階の屋内周囲空間の床面積の合計で除して得た値として、建築物の低炭素化誘導基準において定めるものをいいます。
6. 【14. 確認の特例】の欄は、認定の申請に併せて建築基準法（昭和25年法律第201号）第6条第1項の規定による確認の申請書を提出して同項に規定する建築基準関係規定に適合するかどうかの審査を受けるよう申し出る場合には「有」に、申し出ない場合には「無」に、「✓」マークを入れてください。
7. 【15. 建築物の床面積のうち、通常の建築物の床面積を超える部分】の欄には、法第60条の規定により容積率の算定の基礎となる延べ面積に算入しない部分の床面積（建築基準法第52条第3項及び第6項並びに建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第2条第1項第4号及び第3項の規定に基づき延べ面積に算入しない部分の床面積を除き、建築物の延べ面積の20分の1を超えるときは当該建築物の延べ面積の20分の1とする。）を記入してください。また、当該床面積の算定根拠を示す資料を別に添付してください。
8. この面は、建築確認等他の制度の申請書の写しに必要事項を補って追加して記載した書面その他の記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第三面)

[申請に係る住戸に関する事項]

【1. 住戸の番号】	
【2. 住戸の存する階】	階
【3. 専用部分の床面積】	m <sup>2</sup>
【4. 住戸のエネルギーの使用の効率性】	
1. 一次エネルギー消費量に関する基準	
<input type="checkbox"/> 基準一次エネルギー消費量	GJ/年
<input type="checkbox"/> 設計一次エネルギー消費量	GJ/年
<input type="checkbox"/> 特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果	( )
2. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準	
<input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率	W/(m <sup>2</sup> ・K)
<input type="checkbox"/> 冷房期の平均日射熱取得率	
<input type="checkbox"/> 特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果	( )

(注意)

1. この面は、共同住宅等又は複合建築物の住戸の部分に係る申請を行う場合に、申請に係る住戸ごとに作成してください。
2. 住戸の階数が二以上である場合には、【3. 専用部分の床面積】に各階ごとの床面積を併せて記載してください。
3. 【4. 住戸のエネルギーの使用の効率性】の欄に用いる用語の意義は、第二面の注意5のとおりとします。  
「1. 一次エネルギー消費量に関する基準」は「基準一次エネルギー消費量」及び「設計一次エネルギー消費量」又は「特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れた上で記載してください。  
「2. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準」については、「外皮平均熱貫流率」及び「冷房期の平均日射熱取得率」又は「特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れた上で記載してください。
4. この面は、他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

## (第三面)

〔申請に係る住戸に関する事項〕

【1. 住戸の番号】	
【2. 住戸の存する階】	階
【3. 専用部分の床面積】	m <sup>2</sup>
【4. 住戸のエネルギーの使用の効率性】	
1. 一次エネルギー消費量に関する基準	
<input type="checkbox"/> 基準一次エネルギー消費量	GJ/年
<input type="checkbox"/> 設計一次エネルギー消費量	GJ/年
<input type="checkbox"/> 特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果	( )
2. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準	
<input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率	W/(m <sup>2</sup> ・K)
<input type="checkbox"/> 冷房期の平均日射熱取得率	
<input type="checkbox"/> 特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果	( )

(注意)

- この面は、共同住宅等又は複合建築物の住戸の部分に係る申請を行う場合に、申請に係る住戸ごとに作成してください。
- 住戸の階数が二以上である場合には、【3. 専用部分の床面積】に各階ごとの床面積を併せて記載してください。
- 【4. 住戸のエネルギーの使用の効率性】の欄に用いる用語の意義は、第二面の注意5のとおりとします。  
「1. 一次エネルギー消費量に関する基準」は「基準一次エネルギー消費量」及び「設計一次エネルギー消費量」又は「特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れた上で記載してください。  
「2. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準」については、「外皮平均熱貫流率」及び「冷房期の平均日射熱取得率」又は「特別な調査又は研究の結果に基づく計算方法及び計算結果」の該当するチェックボックスに、「✓」マークを入れた上で記載してください。
- この面は、他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第四面)

2. 低炭素化のための建築物の新築等に係る資金計画

--

3. 低炭素化のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日]	年	月	日
[工事の完了の予定年月日]	年	月	日

(注意)

この面は、記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第四面)

2. 低炭素化のための建築物の新築等に係る資金計画

賃貸予定価格の合算 月当たり〇億〇千万円 (㎡当たり月当たり平均●円)

3. 低炭素化のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期及び完了予定時期

[工事の着手の予定年月日]	●年	●月	●日
[工事の完了の予定年月日]	▲年	▲月	▲日

(注意)

この面は、記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。